

デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生拠点整備タイプ (令和5年度補正予算分) 採択事業一覧



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

内閣府 地方創生推進事務局
内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

- デジタル田園都市国家構想の実現を図り、地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化するため、令和4年度補正予算において、「デジタル田園都市国家構想交付金」を創設しました。
- 同交付金の「地方創生拠点整備タイプ」においては、デジタルの活用などによる観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備などを支援しています。
- このたび、「令和5年度補正予算分」において採択した事業の事業概要を取りまとめました。
- 地域の課題解決等に向けて、当該地域においてどのような拠点施設の整備などを進めるべきか、本資料も参考にいただき、検討を進めていただければと存じます。
- なお、本資料は、事業採択時点で地方公共団体から提出された事業概要をまとめたものであり、事業採択後の過程において変更が生じている可能性がある点にご留意いただきますようお願いいたします。

採択事業一覧①

● 都道府県別 採択事業一覧 (注)「間接補助」は民間事業者の施設整備に対する間接補助、「PFI活用」はPFI法に基づく実施される事業を示す。

地方公共団体名		事業名	間接補助	PFI活用	ページ
北海道	新篠津村	地域日常生活買い物拠点の多機能化整備事業			9
	厚沢部町	「保育園留学の寮」整備事業	○		10
	南幌町	南幌町観光施設整備事業			11
	栗山町	福祉・介護分野における人材育成によるまちづくり事業			12
	沼田町	沼田町クラフトビール工場整備事業			13
	津別町	津別町地域交流拠点施設整備事業			14
	むかわ町	持続可能な地域をめざした未来指向のにぎわい創出事業			15
	士幌町	道の駅「しほろ温泉プラザ緑風」施設再整備事業			16
	白糖町	道の駅しらぬか恋問移転改築事業			17
岩手県	岩手県	半導体製造装置を備えた人材育成拠点の整備計画			19
	宮古市	「防災教育×体験型観光」による地域産業推進事業			20
	二戸市	文化財収蔵庫改修事業			21
	紫波町	紫波町スポーツ交流拠点整備事業			22
	岩泉町	ふれあいらんど岩泉再整備事業			23
	野田村	野田村の息吹をつなぐ交流物産等複合施設整備事業			24
宮城県	大崎市	日本語教育を核とした多文化共生拠点施設整備事業			26
山形県	寒河江市	ギャザリングスポット in チェリーランド整備事業			28
	天童市	荒谷地域交流・活性化センター整備事業			29
	南陽市	「中高生×地域魅力化」赤湯駅拠点整備プロジェクト			30
	西川町	極めて上質な滞在を可能とするプレジャー対応型拠点づくり事業			31
	朝日町	朝日町セミナースペース整備事業	○		32
	舟形町	産学官民の連携による若者転入促進と地域住民との交流による移住定住プロジェクト事業	○		33
	白鷹町	白鷹町多世代交流型子育て支援・健康推進拠点施設整備事業			34
福島県	相馬市	浜の駅松川浦増築整備事業			36
	三春町	三春町キャンプ体験施設整備事業			37

採択事業一覧②

地方公共団体名		事業名	間接補助	PFI活用	ページ
茨城県	茨城県	植物園等魅力向上対策事業			39
	坂東市	坂東地域活性化拠点整備事業（仮称）坂東市産業経済交流施設			40
	神栖市	息栖神社周辺拠点施設整備			41
	境町	河岸の街さかい復興プロジェクト～（仮称）SAKAIビッグエアパーク整備計画～			42
	境町	河岸の街さかい復興プロジェクト～（仮称）「利根川・境町の水」を活用した特産品開発拠点施設整備事業～			43
	境町	河岸の街さかい復興プロジェクト～（仮称）「河岸の街さかい」の魅力発信・well-being向上拠点施設整備事業～			44
	利根町	（仮称）利根町生きがいサポートセンター整備事業			45
栃木県	真岡市	くつろぎの空間創出による滞在時間向上・周遊拠点整備プロジェクト			47
	壬生町	Mibu Love Active ～ 道の駅から始まる La chic ～			48
	壬生町	稼ぐ力と地域の賑わいを創出するための拠点施設整備事業			49
群馬県	群馬県	群馬の観光・花き産業振興拠点整備事業（ぐんまフラワーパークリニューアル）			51
	群馬県	日本最先端クラスのデジタル・クリエイティブ人材育成拠点整備			52
	群馬県	浅間家畜育成牧場研修施設整備事業			53
	神流町	フォレストベース拠点整備事業			54
埼玉県	小川町	小川町地域活性化交流拠点整備事業			56
	吉見町	交流・関係人口創出のためのフレンドシップ・ハイツよしみ再生整備事業			57
神奈川県	松田町	日本初！「やどりきネイチャーポジティブアカデミー」整備事業			59
福井県	福井県	ふくい水産学術産業拠点整備事業	○		61
	福井県	星空の世界遺産『星空保護区』認定 六呂師高原 宿泊・拠点整備事業			62
	越前市	越前鳥の子紙の拠点整備による産業観光誘客及び伝統継承事業			63
	坂井市	パフンウニ陸上養殖施設整備事業			64
山梨県	都留市	都留フィールド・ミュージアム（仮称）整備事業			66
	韮崎市	韮崎大村記念公園賑わい創出、地域の魅力発信事業			67
	身延町	道の駅西嶋和紙の里（仮称）整備事業			68
	丹波山村	モバイル建築を活用した住宅整備による移住促進事業			69

採択事業一覧③

地方公共団体名		事業名	間接補助	PFI活用	ページ
長野県	長野県	魅力ある信州農業の実現に向けた信州首都圏総合活動拠点機能強化事業			71
	長野市	生物資源を活用した茶臼山動物園活性化事業			72
	小諸市	交流人口増加に向けた、みんなに愛されみんなとつながる動物園再整備事業			73
	中野市	若者から子育て世代まで多様な居場所づくりと交流の場整備事業			74
	中野市	北信濃ふるさとの森文化公園アーチェリー場利用促進整備事業			75
	松川町	松川町の地域ブランドを体感できる「宿泊拠点整備×くだもの観光」による地方創生事業			76
	松川町	南アルプス山麓の山村資源を活用した都市部からの誘客事業			77
	松川町	過疎地域における廃校を活用した新しいコミュニティ創出拠点整備事業			78
岐阜県	岐阜県	中山間地域の漁業振興のための魚類研究飼育施設整備計画			80
	山県市	山県市の観光拠点アウトドアツーリズムセンター整備事業			81
静岡県	静岡市	中山間地の廃校を活用した観光拠点整備事業			83
	牧之原市	道の駅を核とした6次産業化による地域ブランディング施設整備事業			84
	牧之原市	歴史文化を活用した観光交流促進拠点整備事業			85
	小山町	多世代交流拠点「谷戸山のいえ」整備事業			86
愛知県	愛知県	世代促進温室整備事業			88
	小牧市	生涯活躍のまち推進施設整備事業			89
	日進市	道の駅 マチテラス日進によるまちのにぎわい創出拠点整備事業			90
	北名古屋	産官学民の多様な主体の参画による「共創のまちづくり」拠点整備事業			91
	弥富市	弥富まちなか交流館市民活動拠点やとみっけベース整備事業			92
	東栄町	のき山学校サテライトオフィス等整備事業			93
三重県	いなべ市	阿下喜ビクターセンター整備事業			95
滋賀県	甲賀市	J A こうか旧雲井支店を活用したまちづくり拠点整備事業			97
京都府	亀岡市	梅岩の里生誕地整備事業			99
大阪府	池田市	デジタルを活用した五月山動物園ウォンバットゾーンの再整備事業			101
	守口市	歴史文化資源を活かした公民連携及びまちの魅力創造によるエリア価値向上事業			102

採択事業一覧④

地方公共団体名		事業名	間接補助	PFI活用	ページ
奈良県	奈良市	奈良市創業支援施設「BONCHI」機能強化整備			104
	奈良市	(仮)子育て支援等複合施設整備事業			105
	川西町	まちなかの賑わい拠点整備事業			106
	川西町	ローラースケートパーク整備事業		○	107
和歌山県	岩出市	道の駅根来さくらの里にぎわい創出計画			109
島根県	島根県	島根県物産観光館改修事業			111
岡山県	早島町	早島駅周辺地域再生拠点化事業			113
	新庄村	ヒメノモチ第3加工場整備事業			114
	鏡野町	健康の町「かがみの」アウトドアアクティビティ拠点づくり事業			115
山口県	宇部市	賑わい交流拠点「恩田スポーツパーク」整備事業			117
	山口市	道の駅「仁保の郷」の機能強化による地域経済活性化プロジェクト			118
愛媛県	西予市	西予市地域づくり活動センター整備事業（周木地区）			120
	砥部町	松山南高等学校砥部分校魅力化支援事業を核とした交流拠点整備事業			121
高知県	いの町	「仁淀ブルー」と土佐和紙に触れる道の駅「土佐和紙工芸村くらうど」観光拠点整備事業			123
	黒潮町	大方高校魅力化の取組を核とした交流施設整備事業			124
福岡県	福岡県	将来の気候変動を見据えた画期的な水田作物の品種開発のための研究拠点施設整備事業			126
	那珂川市	ミリカローデン那珂川リニューアル事業 ～文化芸術を活用した「みんなの居場所づくり」プロジェクト～			127
	筑前町	デジタル技術を活用した平和の拠点づくり等整備事業			128
佐賀県	佐賀県	吉野ヶ里をアウトドアの聖地へ～官民連携による新たな自然体験、交流拠点施設整備【吉野ヶ里歴史公園】			130
長崎県	長崎県	長崎県遠隔教育センター（仮称）施設整備事業			132
	新上五島町	新上五島町こども未来交流センター整備事業			133

採択事業一覧④

地方公共団体名		事業名	間接補助	PFI活用	ページ
熊本県	南関町	『郷ごころ』を育てる“あそび”を軸にした多世代交流拠点施設整備事業			135
	長洲町	多世代ごちゃまぜ、こどもまんなかプロジェクト推進拠点整備事業			136
	南阿蘇村	阿蘇立野ダム仮設備ヤード拠点施設整備事業			137
	甲佐町	スタートアップ企業応援プロジェクト			138
	錦町	道の駅錦農産物直売所くらんど市改修事業			139
	五木村	地域の核としての道の駅「子守唄の里五木」（山の幸館）再生事業			140
大分県	豊後高田市	国東半島の海（眺・食）を活かした浜焼き施設整備事業			142
宮崎県	西都市	西都市の魅力を創造・発信する観光拠点施設「西都原ガイダンスセンターこのはな館」再整備事業			144
	高鍋町	高鍋駅交流拠点施設整備事業			145
	木城町	川原自然公園交流拠点施設整備事業			146
	椎葉村	地域の未来を紡ぐ交流拠点施設整備事業			147
鹿児島県	南種子町	「宇宙に一番近い島からデジタル人材」種子島宇宙学校プロジェクト拠点施設整備事業	○		149

北海道

事業概要【地域日常生活買い物拠点の多機能化整備事業】

拠点補正

申請者	北海道新篠津村	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	219,740千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	住民生活に不可欠な小売店施設を地域コミュニティ醸成に資する機能や地域産業である農業の魅力向上に資する機能を併せ持った多機能施設として改修し、買い物難民の増加を留め、地域コミュニティの活発化を推し進めることにより、地域の人口減少を増加に転じさせることを目的とした拠点とする。		
整備内容・利活用方策	小売店施設を改修し、地域製品の販売コーナーを設け、地域製品の付加価値を高める機能を発揮する。 設備を充実し、日常生活の要求にこたえる商品展開をする。 施設内に公衆Wi-Fiを整備した交流拠点スペースを設置、自由に参集利用可能なスペースを設けることで、地域コミュニティ活動機会を広く提供する。 デジタルサイネージを設置し、行政・生活・観光情報等の多様な情報を効果的に発信する。 小売店内に地域製品販売コーナーを設置し、地域製品の情報発信やPRを展開する。 ・建築本体工事：68,458千円 ・設備工事：119,578千円 ・内装及び備品等：31,704千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①人口（+83人） ②地域製品販売コーナー売上額（+2,400千円） ③交流スペース利用者数（+23,910千人） ④小売店の売上額（+20,000千円）	関連URL	https://www.vill.shinshinotsu.hokkaido.jp/

事業概要【「保育園留学の寮」整備事業】

拠点補正

申請者	北海道厚沢部町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	73,332千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>『「保育園留学」のさらなる拡大から『保育園移住』へ地続きにつなぐ』をテーマに、子育て世帯をターゲットとした、保育園留学専用の住宅を2戸整備し、保育園留学を柱とした関係人口の創出・拡大さらには移住人口創出を図ることを目的とする。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>保育園留学専用であり子育て世帯向けの住宅を2戸整備し、都市部からの子育て層をターゲットに保育園留学用として運用を行うことで、関係人口創出・拡大による切れ目ない人の循環を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園留学の寮整備費：60,432千円 ・外構設備整備工事費：7,332千円 ・Wi-Fi環境整備事業費：52千円 ・プロジェクト管理費：1,393千円 ・施設備品購入費：4,002千円 ・諸経費：121千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数（+5世帯） ②保育園留学の寮滞在日数（年間利用日数×延べ利用人数） （+1,720日） ②地元への経済流入額（+4,400千円） ④保育園留学の寮利用から移住に向けた相談件数（+13件） 	関連URL	調整中

事業概要【南幌町観光施設整備事業】

拠点補正

申請者	北海道南幌町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	945,882千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	南幌温泉を天然温泉とサウナに特化し、ランニングコストを大幅に削減した観光施設にリニューアルすることで、ウェルネスツーリズム対応型施設としてのニーズも満たし、子育て世帯や高齢者、サウナー目線を考慮した魅力あふれる施設として、温泉利用客の増加を図るとともに、町内への周遊観光に寄与する観光拠点の要として活用していく。		
整備内容・利活用方策	<p>2ヶ所（本館・新館）ある浴場施設を1つ（本館）に集約し、大露天風呂を新設、新館浴場はサウナ特化型施設とすることで利便性の向上とランニングコスト削減を図り、宿泊部屋の一部を洋室化、Wi-Fi環境の整備によりワーケーション施設としての機能を備える。</p> <p>レストランの低床化と小上がり改修により高齢者及び子ども連れに対応。</p> <p>自立走行型清掃ロボット、デジタルサイネージにより、スタッフの負担軽減とサービス向上にデジタルの力で対応する。</p> <p>南幌温泉工事費：914,946千円 駐車場・Wi-Fi整備事業費：8,843千円 南幌温泉備品等整備費：22,093千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における観光消費額（+110,000千円） ②施設利用者数（+72,000人） ③施設利用による収益（+55,244千円） ④南幌町の観光入込客数（+212,000人）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.nanporo.hokkaido.jp/</p>

事業概要【福祉・介護分野における人材育成によるまちづくり事業】

拠点補正

申請者	北海道栗山町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	96,200千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	介護分野の中核を担う介護福祉人材を養成するため、栗山高等学校との連携をより強化・発展させるとともに、行政・専門学校・高校、そして産業界が緊密に連携・協働し、高・専一貫の教育プログラムの検証・改善を通して、本町の福祉・介護の人材確保に取り組んでまいりたい。		
整備内容・利活用方策	<p>「総合的な探究の時間（栗山と福祉）」において、高校3年間、栗山町の福祉のまちづくりの背景、歴史を知り、地域の将来像を考えるとともに、福祉・介護の基礎的な知識・技術を学び、キャリア形成の方法を考え、卒業後は介護福祉学校での専門分野をさらに学び、介護福祉を実践する社会において、リーダーとなる人材、さらに高度なスキルを持って介護現場での中心的な役割としての介護福祉士を期待する。</p> <p>施設内にてオンライン会議や情報発信のためのWiFi環境を整備し利用者の利便性向上を図るとともに、デジタルサイネージにより学校行事や町のイベント、災害情報等を効果的に発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生寮（増設）整備費：95,700千円 ・Wi-Fi及びデジタルサイネージ設置工事費：500千円 	   	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数（▲244人） ②栗山高校から町立北海道介護福祉学校及び福祉系大学進学者、介護事業所及び関連事業所への就職者数（+23人） ③町立北海道介護福祉学校からの介護分野への就職率（+500%） ④町立北海道介護福祉学校の入学者数（+21人） 	関連URL	https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp

事業概要【沼田町クラフトビール工場整備事業】

拠点補正

申請者	北海道沼田町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	77,825千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	北海道内初の公設民営のクラフトビール醸造所となり、全国的に沼田町の取組みを発信できるとともに、クラフトビールによるまちづくりによる町内の食産業の活性化や新規参入事業者の誘致など、多様な食産業の展開と、観光客の満足度を上げる製品の獲得と、関係人口や交流人口の増加も期待される。		
整備内容・利活用方策	<p>消費者や実需者のニーズに対応するため、小ロットでオリジナリティを出せる商品開発。</p> <p>特産品開発だけではなく、クラフトビール起点で新たな産業の誘致や多様なステークホルダーとのコラボレーションにより、強いコミュニティ形成を醸成することができ、関係人口や交流人口の増加、地域の活性化と本町のような過疎地域でも若者を中心とした人の流れが生まれ、強い地域経済の礎となる。</p> <p>稼働初期においてデジタル制御システムを導入し、醸造家を複数配置しなくとも安定した品質管理ができるようにしている。オンライン環境を活用し、全国からの受注拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備費 39,094千円 ・付帯設備費 38,731千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における新規雇用者数（+10人） ②クラフトビールの醸造量（+13,500ℓ） ③沼田町民オリジナルビールの開発数（+14品） ④オリジナルクラフトビールの認知度向上イベント数（+10回） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.numata.hokkaido.jp/</p>

事業概要【津別町地域交流拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	北海道津別町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	393,976千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	津別町における地方創生を実現するために、まち・ひと・しごとの観点より地元産業の担い手確保、観光の誘致、移住・定住の促進をするため、その拠点となる施設を整備し、定住人口の維持・増加やこれまで取り込めなかった観光客等を取り込むことで、交流人口・関係人口の創出・拡大を図り移住人口を増加させるとともに定住人口の維持・増加に繋げていく。津別町に住み続けたい、働きたい、暮らしたいと思える活力あるまちづくりを目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>施設には移住支援窓口、イベント実施ができる多目的スペースを設け、その隣には町内で利用の少ないキャッシュレス決済、携帯端末ポイントシステムの普及のための買い物環境整備として、物販施設を併設する。この施設では、精算機能を備えたショッピングカートの導入など、デジタル技術を活かした「スマートストア」としての試験的運用も行い、デジタル技術に触れ、慣れ親しむことで、地元住民のデジタルリテラシーのボトムアップとデジタルが進む社会で高齢者が取り残されないまちを創りあげていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事費：252,329千円 ・電気設備工事：60,929千円 ・機械設備工事：60,742千円 ・デジタルサイネージほか設備費：14,520千円 ・備品費：5,456千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の世帯数（+16世帯） ②施設利用者数（+120,120人） ③施設総売上額（+330百万円） ④施設での移住・定住相談者数（+570人） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/juminkikaku/16/885.html</p>

事業概要【持続可能な地域をめざした未来指向のにぎわい創出事業】

拠点補正

申請者	北海道むかわ町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	392,868千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	人口減少に歯止めをかけ地域が抱える様々な課題の解決を目指し、地域の生き残りをかけて地域住民と観光客との相乗効果を最大限に発揮し、賑わいの創出・地域振興を図る場として「温浴カフェ」を建設する。		
整備内容・利活用方策	<p>町民の交流の場・新たな観光客施設である温浴、飲食の複合施設を建設し、地域住民だけではなく町外からの多くの利用者を獲得する施設整備を進める。Wi-Fi環境の整備やキャッシュレス決済の導入により、利用者の利便性向上を図るとともに、デジタルサイネージによる施設案内等を行うことで業務の効率化を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 216,057千円 【設計管理費】 5,821千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 41,644千円、機械設備工事費 127,146千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容 【デジタルサイネージ等】 2,200千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（+100人） ②施設の来場者数（+3,633人） ③入浴料収入（+4,398千円）		関連URL http://www.town.mukawa.lg.jp

事業概要【道の駅「しほろ温泉プラザ緑風」施設再整備事業】

拠点補正

申請者	北海道士幌町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	987,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	<p>士幌町が魅力的で楽しめる場として、またこれまでの観光振興事業の効果が薄いこと等により、定住意向や移住の動機づけとなる要素に欠けていることから、多様な人々や首都圏等と地域住民の「ツナガリ」を築き、士幌町への新しいひとの流れを創出する拠点施設として、道の駅「しほろ温泉プラザ緑風」を整備する。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>士幌町下居辺地区にある観光拠点施設、道の駅「しほろ温泉プラザ緑風」は、町民利用ニーズと観光客ニーズに対応するとともに、新たな働き方への対応と合わせ誘客を高める施設機能の強化を主体に、施設従業員の省力化を考慮した導線や配置、地球温暖化対策の推進を考慮した機械設備の導入により持続可能な観光拠点施設として整備を行う。</p> <p>通信環境の整備によりワーケーションにも対応でき、スマートチェックインによる省力化も図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅整備費：987,000千円 ・客室改修：170,500千円（対象外） ・設備工事費（再エネ導入分）：65,500千円（対象外） ・太陽光発電設備費：507,000千円（対象外） 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+50,000千円） ②道の駅来客者数（+15,000人） ③道の駅売上額（+25,000千円） ④無料入湯券の配布数に対する利用率（+19%） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.shihoro.jp/ http://www.shihoro-spa.co.jp/</p>

事業概要【道の駅しらぬか恋問移転改築事業】

拠点補正

申請者	北海道白糠町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	1,000,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	海岸沿線の立地を活かし、車中泊施設やサウナ施設など特色ある施設整備を行うことで、道の駅を観光資源へと変化させ年間75万人の利用を目指す。また、災害時には再生可能エネルギー等の活用により自立可能な避難施設とすることで国道38号に面する道の駅としての役割を担うとともに観光振興を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>地場産品を活用した特産品の開発や収穫祭などのイベントを行う。</p> <p>キャッシュレス決済やPOSシステムの導入などデジタル技術を活用し、決済時の時間短縮による利便性向上を図るとともに、顧客ニーズを正確に把握した経営戦略による商品開発を展開することで売上と利用者数の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅整備費 980,011千円 ・施設用備品 15,408千円 ・デジタル環境整備費 4,581千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額 (+373,412千円) ②観光入込数 (+267,751人) ③駐車機会損失台数 (+400台) ④圏域観光入込数 (+255,200人) 	関連URL	http://www.town.shiranuka.lg.jp

岩手県

事業概要【半導体製造装置を備えた人材育成拠点の整備計画】

拠点補正

申請者	岩手県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	399,942千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	デバイスメーカーから製造装置メーカーまで多様な半導体関連企業が集積している本県の特徴を生かし、産学官が連携し半導体人材を育成することで、半導体関連企業の更なる業容拡大と集積を図り、もって、安定した雇用の創出及び所得の向上による地域経済の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>半導体製造装置を用いた各種研修や半導体製品の分解展示等を実施する施設を整備し、半導体製造装置エンジニア育成、次世代人材育成、ものづくり情報発信等を実施する。施設の整備主体は、半導体関連産業支援策等に関する知見を有し、関係する支援機関や業界団体等との連携実績がある(公財)いわて産業振興センターが担う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成施設整備費：250,000千円 ・駐車場工事費：10,000千円 ・半導体製造装置：135,432千円 ・備品：4,510千円 	<p>【施設の機能】</p>	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における新規雇用者数（+1,000人） ②半導体関連産業の製造品出荷額（+1,000億円） ③本施設で実施するSEAJ推奨安全教育の修了者数（+100人） ④地場企業の半導体関連取引成約件数（+150件） 	関連URL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1011373/1011374.html

事業概要【「防災教育×体験型観光」による地域産業推進事業】

拠点補正

申請者	岩手県宮古市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	308,704千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本市は、東日本大震災により甚大な被害を受け、復旧復興に向けた取り組みを進めている。災害を忘れないため、更なる復旧復興を目指し、「防災教育×体験型観光」による拠点整備により周辺観光施設と融合した新たな観光メニューを造成し、「通過型」の観光地から「滞在型」の観光地へのシフトを図ることで、観光業の振興を目指すとともに、観光客の滞在時間を延伸により市内の各種産業・経済に好循環を促し、市の稼ぐ力の向上を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>「防災教育×体験型観光」をコンセプトに、教育旅行をはじめとした観光客の受け入れ施設を整備する。施設内にはWi-Fiを整備し、来館者の利便性を図るとともに、デジタルパンフレットを活用した情報発信を行う。</p> <p>【施設機能】</p> <p>①展示機能（デジタルサイネージを活用した災害の歴史等の資料展示）</p> <p>②体験機能（ワークショップの実施、震災経験者との語りを通じ防災意識を醸成）</p> <p>【整備概要】</p> <p>軽量鉄骨造、延床415㎡</p> <p>建物はZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を実現</p> <p>・建物整備費：466,719千円</p> <p>・デジタルサイネージ設置費等：36,500千円</p>		
KPI	<p>①観光消費額（+1,750千円）</p> <p>②延べ宿泊者数（+30,000人）</p> <p>③来訪者満足度（+1.0%）</p> <p>④リピーター率（+0.5%）</p>	関連URL	<p>https://www.city.miyako.iwate.jp/kikaku/sougousenryaku_koukakensyou.html</p>

※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【文化財収蔵庫改修事業】

拠点補正

申請者	岩手県二戸市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	170,583千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	<p>国産漆の約8割を生産する日本一の産地であり、漆器の材料となる漆の生産から製作までを一貫して行うことができる唯一の地域において、漆産業が受け継がれてきた取り組みや文化のストーリーを理解し体感できる拠点をづくり、漆産業の振興と地域の活性化を目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>文化財収蔵庫において、ARやデジタルサイネージを活用した重要文化財などの情報や展示している道具等の利用シーンの投影など、来館者がより具体的にイメージできるよう、これまでの「保存する施設」から「体感し学ぶ施設」への改修により、来館者数の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物本体工事：67,892千円 ・電気及び機械設備工事：62,788千円 ・デジタル技術活用の整備：39,903千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における農林水産就労者数（+5人） ②漆器出荷合計額（+9,000千円） ③収蔵庫及び周辺施設の利用・来館者数（+4,000人） 	関連URL	https://www.city.ninohe.lg.jp

事業概要【紫波町スポーツ交流拠点整備事業】

拠点補正

申請者	岩手県紫波町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	399,745千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>紫波運動公園内に、プロスポーツクラブと来園者が共用するクラブハウスを整備する。総合戦略に掲げている「大人だけでなく小中学生や高校生、大学生が地域の豊かな資源に触れることで、「暮らし続けたい」そして「（一度町外に出て）戻ってきたい」と思えるまちづくりに取り組みます。」という構想の実現に向けて、年齢や性別を超えて多様な世代がスポーツに親しみ、新たな交流を生み出す環境を整備する。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>既存の観客スタンドを解体し、跡地に新たにクラブハウスを整備する。合わせて、公園内も改修し、キッチンカー等の営業ができる環境に機能を向上させ、園内の占有利用によって直接的に消費が起きる環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブハウス整備費…303,710千円 ・既存施設の解体（観客スタンド）…55,000千円 ・園路植栽撤去…8,000千円 ・園内Wi-Fi整備費…10,000千円 ・芝グラウンド散水改良工事…5,000千円 ・備品購入…18,035千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口・世帯数（+150世帯） ②公園内での消費が発生するイベント回数（+28回） ③公園の占有使用による物品・食品等の販売回数（+30回） ④プロスポーツチーム試合回数（+12回） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.shiwa.iwate.jp/soshiki/4/2_1_1/168983370527297/</p>

事業概要【ふれあいらんど岩泉再整備事業】

拠点補正

申請者	岩手県岩泉町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	372,743千円
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	既存アウトドア施設にコテージやグランピング等を整備し、アウトドアを核とした岩泉町の魅力を活かしたアクティビティ等の体験型コンテンツや季節の地元食材を生かした料理の提供、地元酒蔵の地酒やクラフトビールの提供など上質な体験やサービスを提供し、交流人口の増加を図りたい。		
整備内容・利活用方策	<p>既存アウトドア施設を再整備し、通年にわたる誘客、滞在型観光の推進、キャンプ場利用者の更なる客層の取り込み、インバウンド需要の取り込みを図り、官民連携により自立した運営体制を導入する。敷地内にはWi-Fi環境を整備し、一般利用者のデジタル環境向上による利用促進やワーケーション、オンライン会議によるビジネス利用者に対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コテージ、グランピング等整備費：257,630千円 ・センターハウス等改修費：67,854千円 ・オートキャンプ場区画変更等整備費：41,759千円 ・Wi-Fi設置費：5,500千円 	 <p>ドーム内観イメージ</p> <p>半露天風呂イメージ</p> <p>分館イメージ</p>	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+120,351千円） ②施設売上額（+84,009千円） ③施設利用者数（宿泊）（+3,195人） ④町内観光入込客数（+89千人） 	関連URL	https://www.town.iwaizumi.lg.jp/

事業概要【野田村の息吹をつなぐ交流物産等複合施設整備事業】

拠点補正

申請者	岩手県野田村	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	839,721千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	全線開通した三陸沿道道路インターチェンジに隣接した用地に、村の玄関口となる「交流物産等複合施設」を整備し、地域の特色ある生産物や特産品の販売を通じ、「しごと」の創出・地域産業の発展を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>交流物産等複合施設において、地元生産者や関係団体と連携した新商品開発や高付加価値化につながる生産ストーリー等情報発信するとともに、広い駐車場・トイレ棟を整備することで三陸沿岸道路利用者を誘客し、売上向上を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 401,950千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 148,374千円、機械設備工事費 162,248千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容 【外構一式工事】 駐車場整備費 127,149千円</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①地域における農林水産就労者数（+8人） ②本施設を利用する農林水産物生産者の出荷額（+40,774千円） ③本施設での新商品開発数及びブランド化商品数（+7品） ④本施設での新規出店者数（+15者）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.vill.noda.iwate.jp/index.html

宮城県

事業概要【日本語教育を核とした多文化共生拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	宮城県大崎市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	77,644千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	本市が開設に向けて整備を進めている公設公営の日本語学校の多文化共生機能を拡充し、外国人の若者にとって第2の故郷となる大崎市の魅力を伝え、将来への移住・定住の入口となる施設として利活用を行う。		
整備内容・利活用方策	<p>整備した施設を拠点として、市民を対象とした多文化共生セミナーや、市内小中学校及び高校と留学生とのインターネットを活用したオンライン交流会、留学生の地域イベント体験交流会事業等の多文化共生推進事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事費：35,317千円 ・電気設備工事：23,220千円 ・機械設備工事：16,946千円 ・工事管理費：3,505千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン（+78人） ②事業連携団体数（企業，まちづくり協議会等）（+100団体） ③オンラインによる交流事業参加者数（+100人） 	関連URL	https://www.city.osaki.miyagi.jp/shisei/soshikikarasagasu/shiminkiyodousuishimbu/seisakuka/2_1/3794.html

山形県

事業概要【ギャザリングスポット in チェリーランド整備事業】

拠点補正

申請者	山形県寒河江市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	304,077千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	道の駅の利用が多い家族旅行者に加え、バイクユーザーや自転車愛好家などをターゲットとした新しい観光需要を掘り起こし、ギャザリングスポットから中心市街地や周辺の観光資源へ新たな人の流れを創出することで、人が集い稼ぐまちづくりと地域経済の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>ギャザリングスポットには、二輪ユーザー休憩スペース、コインシャワー、自転車整備スポット、電動モビリティ充電スポット、地域・道路情報掲示スペース、授乳・調乳等乳幼児スペース、男女トイレ、多目的トイレ、こども専用トイレ等を有する複合施設を整備する。自動車・二輪（バイク・自転車）、障がい者など国道を通行するみんなが利用しやすい環境をつくる。多様な情報を取得・交換できる西村山地域の情報発信拠点として、道の駅のゲートウェイ機能を強化する。</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①寒河江市における観光消費額（+847.00百万円） ②寒河江市を訪れた観光客数（+420.00千人） ③ギャザリングスポットの利用者数（+350.00千人）</p>		<p>関連URL https://www.city.sagae.yamagata.jp</p>

事業概要【荒谷地域交流・活性化センター整備事業】

拠点補正

申請者	山形県天童市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	392,568千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>整備予定地域の天童市荒谷地区は、若年層の市中心部等への流出による少子高齢化の進展により地域コミュニティ機能の低下及び地域のアイデンティの基となる地域歴史・文化の継承の衰退が懸念されることから、将来的な地域住民による課題解決に向けた活動拠点を整備し、「行ってみたい・住んでみたい」と感じる「ブランド力」のある地域づくりの構築を目的とする。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>地域住民が主体となり、福祉や子育て、健康づくり等を通じ、地域住民に「優しく」「住みやすい」環境整備を行い、将来に渡り持続的に暮らせる地域づくりの中心となる「人材」及び「組織」の育成を進めながら、当地区と歴史的関連の深い景勝地「山寺」や「紅花」に関連したイベントを通じ、交流人口の拡大を推進していく。</p> <p>また、無線LANやWeb会議設備も整備し、リモートによる講演会を実施することで生涯学習機会を提供する。</p> <p>総施設整備費 440,462千円（うち、交付対象事業経費 392,568千円）</p> <p>RC・S・木混構造平屋建（床面積798㎡） 交流ホール・交流展示室・和室会議室 キッチンスタジオ・歴史文化展示コーナー</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の人口（+20人） ②交流施設の利用者数（+400人） ③交流施設で開催したイベント数（+40回）</p>		<p>関連URL www.city.tendo.yamagata.jp/</p>

事業概要【「中高生×地域魅力化」赤湯駅拠点整備プロジェクト】

拠点補正

申請者	山形県南陽市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	133,606千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>市内の最重要交通結節点である赤湯駅にある「南陽市総合観光物産センター（サマルプラザ）」を改修し、中高生によるICT等を活用した地域課題の解決や将来的に地域を支える若手人材の育成プログラムを提供するとともに、テレワーク環境整備や休憩所・物販機能強化による中高生をはじめとする住民と地域外の人との交流の活性化を図り、関係人口の増加を目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>【整備内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) トイレ以外の施設の模様替（配置換え） 2) カフェ及び天井の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・整備工事費：128,480千円 ・工事監理費：5,126千円 <p>【利活用方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生の定期的な地域探究活動の実施や、ICT教育の推進。 ・港区とのワーケーション事業やJR、他の自治体と連携したテレワーク、パラレルワークの推進。 ・農家や商工業者と連携した物販の充実。 		
KPI	<p>①・・・ 地域へのUIターン数（+10人）</p> <p>②・・・ 中高生が考案又は実施する地域課題解決型ビジネスローンチ数（+3件）</p> <p>③・・・ 将来南陽市に住みたいと思う高校生の割合（+15.0%）</p> <p>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL www.city.nanyo.yamagata.jp</p>

事業概要【極めて上質な滞在を可能とするブレッジャー対応型拠点づくり事業】

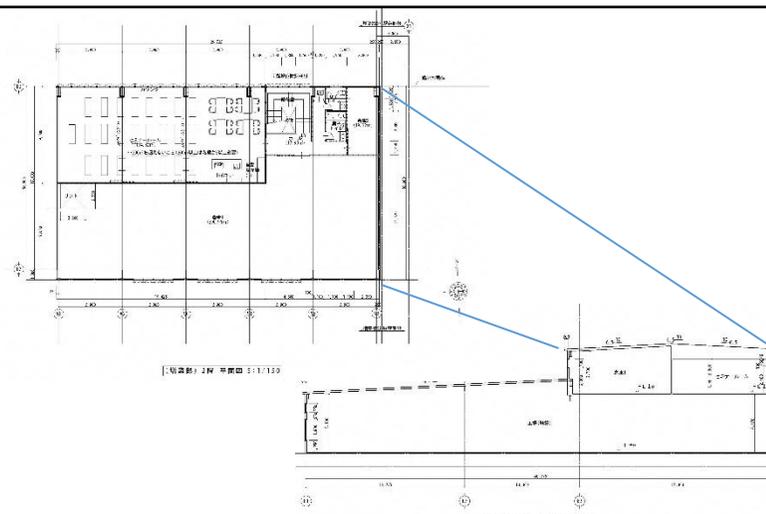
拠点補正

申請者	山形県西川町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	127,050千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	<p>個人・少人数グループの観光客に対し、一定期間安価に滞在出来る宿泊施設の整備による観光消費額の増加、町の魅力を更に訴求した観光コンテンツの実施や、地域住民との交流を通して、交流人口の創出につなげる。</p> <p>また、企業や関係人口が活動出来る拠点の整備により、専門性の高いスキルを活かす機会を求めて町に何度も訪れながら、地元企業との関係性を強め、課題解決につながるソーシャルビジネスを創出する環境を整える。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>○個人・少人数グループの観光客に一定期間の滞在による周遊型観光を目的とした宿泊施設</p> <p>○連携企業と地元の事業者、連携企業同士の地場食材を振る舞う交流イベントによる、地域との関係性強化を目的としたシェアキッチン</p> <p>○企業への一棟貸しによるオープンオフィスとしての活用を可能とするWi-Fi通信環境</p> <p>○多様な働き方に対応し、会議室としても利用できるコワーキングスペース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コワーキングスペースおよび宿泊施設の整備費：108,350千円 ・敷地の整備費：6,600千円 ・シェアキッチンの整備費：5,500千円 ・デジタル技術の整備費：3,300千円 ・備品購入費：3,300千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①西川町の観光消費額（+10,000千円） ②施設の宿泊者数（+600人） ③施設の観光客数（+1,100人） ④旅行商品造成数（+6本） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.nishikawa.yamagata.jp</p>

事業概要【朝日町セミナースペース整備事業】

拠点補正

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	山形県朝日町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	40,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	町内には企業等が利用できるインターネット環境が整った大規模な会議室が存在しないため、本整備により大人数での会議や視察者の受け入れ、オンラインを活用した町内企業合同の説明会の開催などが可能となる。企業の魅力度や知名度の向上に向けた事業に取り組み、新規就業者数の増加や新たな企業誘致の獲得を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>町内にある企業が今後整備する第二工場の2階に、セミナースペース・コワーキングスペースを整備する。本整備を町有施設ではなく、民間施設で行うことで、より柔軟な対応と企業間の横の連携を最大限活用することができ、より効果の高い事業を実施できる。</p> <p>【施設名称】（仮称）朝日町セミナースペース 【整備内容】セミナースペースの整備 【民間事業者への補助(施設整備費)】40,000千円 (全体事業費 128,069千円)</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①朝日町における新規雇用者数（+12人） ②（仮称）朝日町セミナースペースの年間利用者数（+400人） ③町外から（仮称）朝日町セミナースペースの年間利用者数（+100人） ④社会増減数（転入者数－転出者数）（+9人）		関連URL https://www.town.asahi.yamagata.jp

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	山形県舟形町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	52,500千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>令和6年4月に山形県立東北農林専門職大学が新庄市に開学する。本事業は大学生が本町に誘致する民間アパートに居住し、地域住民等と交流しながら、本町への移住就農の実現と、地域社会の維持対策を行う事業である。民間アパート整備に対して町は補助金を交付するスキームとしており、令和4年度第2次補正予算分と同様に地方創生拠点整備タイプを活用して民間アパート(第2号棟)の増棟を行い、若者とともにまちづくりを活性化していきたいと考えている。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>【学生向け民間アパート整備補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○棟数:1棟(令和6年度、第2期生分) ○建物所有:民間事業者(町と事業者で協定を締結) ○想定戸数:10戸 ○補助金額:42,000千円 ○活用方法:町外から入学した本大学の学生が本交付金により整備された民間アパートに居住し、学生生活を送る。生活に必須な情報インフラも整備し、他農業大や篤農家とオンラインでつながることで、移住就農実現に向けた総合的なアプローチを行っていく。 	 <p style="text-align: center;">学生向けアパート(イメージ)</p> <p>第1号棟はR5.12時点で満室となり、ニーズが確認されたことから、第1期地区とは別に第2期地区を造成し、1学年1棟のイメージで順次3棟の増棟を計画中。</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①移住者数の増加（+58人） ②新規就農者数の増加（+3人） ③農業法人の増加（+5法人） ④交流施設における交流者数(+300人) 	関連URL	https://www.town.funagata.yamagata.jp/

事業概要【白鷹町多世代交流型子育て支援・健康推進拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	山形県白鷹町	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	245,675千円
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野

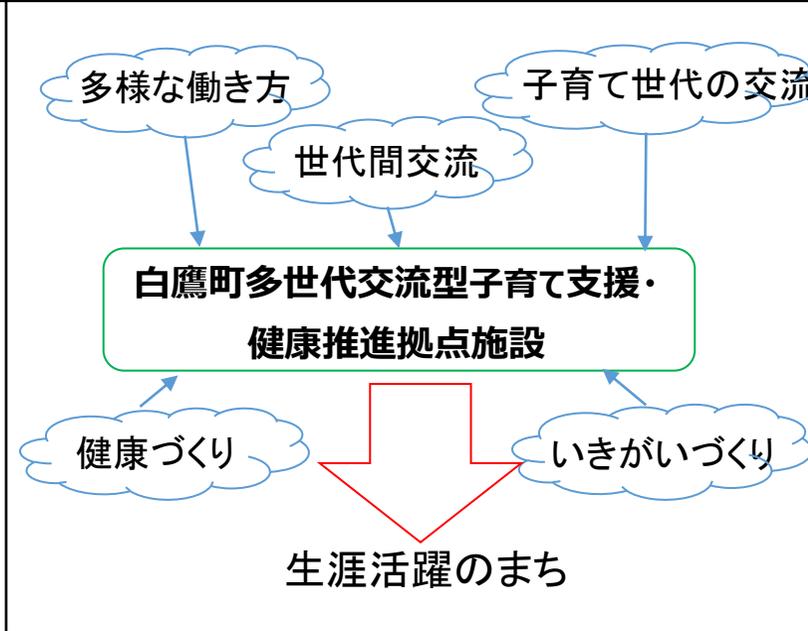
目的（効果）
 地域産業、地域文化を支える人材の確保するため、町健康福祉センターの一部を改修し、子育て世代が子供を遊ばせながら自身の作業ができる環境や子どもから高齢者までの全町民が自分に合った健康づくりを実践できる環境を整備することで、町民の全世代が生きがいを持って長く活躍できる「生涯活躍のまち」の実現を目指す。

整備内容・利活用方策

健康福祉センターの一部を改修し、子供を遊ばせながら自身の作業ができるよう、パパママ交流スペースやコワーキングスペースとキッズスペースを整備し、全町民のレクリエーション・健康増進の場の整備として全天候型多目的運動ホールの整備、運動器具等、高齢者フレイル予防ルーム、カフェスペースを整備することにより、町民の子育て・健康づくり・世代間の交流機能を持つ複合的な拠点施設を整備する。

デジタルを活用した取組として、多目的運動ホールの運動器具と健康増進アプリを連動させて運動・健康情報を記録することにより、運動習慣を継続させ、町民の生活習慣の改善につなげる。また、コワーキングスペースとキッズスペースの整備により、子育て世代がテレワークやオンライン講座でのスキルアップに取り組む環境を整備するとともに、高齢者フレイル予防ルームを拠点に高齢者がデジタルデバイスを活用できるようオンライン講座やスマホ教室を実施し、高齢者のデジタルデバイドの解消を図る。

- 建築工事費等 232,874千円
- 運動器具等 12,801千円



KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始5年後の「KPI増加分」の目標値</small>	①地域の人口数（+22人） ②この町でこどもを産み育てていきたいと思う人の割合（+12%） ③施設利用者数（+5,000人） ④地域の就業者数（主要企業）（+8人）	関連URL	令和6年10月公表予定

福島県

事業概要【浜の駅松川浦増築整備事業】

拠点補正

申請者	福島県相馬市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	344,497千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	<p>当市の基幹産業の一つである水産業と、松川浦周辺を中心とした観光業を立て直すため、当市の復興のシンボルとしてオープンし、現在では当市の観光の中心となっている相馬復興市民市場（愛称：浜の駅松川浦）の集客力をさらに活かすための機能強化（増築整備）を行う。浜の駅松川浦を訪れ、相馬産水産物に親しみ、実際に食する体験をする人を増やすことで、相馬産水産物のブランド力と需要を回復し、水揚高の増加と観光客増を図る。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>浜の駅松川浦に、地場食品の販売とイトインのコーナーや体験コーナー等の機能を追加する。地場食品の販売コーナーでは新鮮な地元魚介類を使った寿司等を販売し、より多くのお客様に相馬産水産物に親しんでもらうことを可能とする。体験コーナーにはタッチ操作が可能な大型のデジタルサイネージを設置し、楽しみながら相馬産水産物に親しむことのできる体験型コンテンツ「デジタルお魚図鑑」を提供及び各種観光情報やイベントの告知等、効果的に情報発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増築整備費：301,706千円 ・設備整備費：29,775千円 ・備品等整備費：7,773千円 ・デジタルサイネージ設置及びコンテンツ開発費：5,243千円 		 
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における農林水産出荷額（+880.29百万円） ②相馬市における漁船乗組員の新規就業者数（+4人） ③市内の主な観光地への観光客入込数（+24.7万人） ④浜の駅松川浦の売上高（+197,645千円） 		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証）調整中</p>

事業概要【三春町キャンプ体験施設整備事業】

拠点補正

申請者	福島県三春町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	396,946千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	アウトドア環境整備としてユニットキャンプ施設を整備し、手軽な体験型観光を推進することにより、三春滝ザクラを中心とした春メインの観光産業から「通年型観光への転換」を目指す。また、三春町を拠点とした、登山エリアの周遊など人的交流や町内外の地域経済の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>ユニットキャンプは、手ぶらでも気軽に宿泊ができるための設備を常設したキャンプサイトであり、キャンプ初心者でも利用できる施設である。当町ならではのアウトドア観光を推進し、体験活動を通じてリピーターを増やすなど関係人口の増加に繋げることで、アウトドア・アクティビティという新たな観光産業を軸とした持続可能なまちづくりを目指す。Wi-Fiを整備することにより、観光客の利便性の向上を図る。また、デジタルサインージで三春町出身の登山家「田部井淳子」氏を紹介し、登山客の宿泊地としてキャンプ場の活用につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニットキャンプ場 283,030千円 ・キャンプ場内道路等整備 99,000千円 ・登山家「田部井淳子」氏の映像制作、放映 5,016千円 ・キャンプ場Wi-Fi整備 9,900千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+600百万円） ②滝ザクラ開花時期を除いた観光入込客数（+120,000人） ③ユニットキャンプ場利用者数（+3,140人） ④ビジターセンター利用者数（+13,000人） 	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

茨城県

事業概要【植物園等魅力向上対策事業】

拠点補正

申請者	茨城県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	2,999,563千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	整備後40年以上が経過した茨城県植物園及び茨城県民の森について、元々の自然や植物が持つ非日常性のポテンシャルを最大化するようリニューアルし、新たな時間消費・コト消費を提供する施設として、また茨城県央地域の一大観光拠点として、首都圏など広域的な利用者の獲得と新規顧客層の取り込みを図ることで、地域の魅力向上と、利用者増加による地域の活性化を図り、地方創生の実現を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>「緑に遊び、緑に包まれて眠る、日本初の泊まれる体験型植物園」をコンセプトとして、既存施設のほか園内に宿泊施設や飲食施設、温浴施設等を新築するほか、森の中でのARシューティングをはじめとした自然を活かしたアクティビティなどの自然に触れて学ぶことができるコンテンツを整備し、県内外の多様なニーズに応えるとともに利用者の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備（宿泊施設、温浴施設ほか） 2,271,962千円 ・野外施設（アクティビティ施設ほか） 693,765千円 ・ソフト事業整備（デジタルアクティビティほか） 33,836千円 	 <p>整備イメージ</p>	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+630億円） ②施設の売上額（+838,340千円） ③植物園、県民の森の施設利用者数（+65,835人） ④延べ宿泊者数（+23,000人） 	関連URL	https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukai.html

事業概要【坂東地域活性化拠点整備事業(仮称)坂東市産業経済交流施設】

拠点補正

申請者	茨城県坂東市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	230,961千円
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ(補正予算分)	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	利根川を跨ぐ下総利根大橋の袂に、農産物直売所・観光情報コーナー・サイクルステーション等を備える(仮称)坂東市産業経済交流施設を整備し、地域で生産した高品質な農産物の提供や、観光客・サイクリストに対する地域の魅力発信等により集客することを通じ、地域産業や地域間交流の活性化を図り、農家の担い手不足解消や地域経済の活力の底上げを目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>小規模農家・新規就農者が参入しやすい販路提供の場や、観光客やサイクリストの市内周遊の発着拠点として整備するものである。</p> <p>地元関係者(農家、商工業者、学生)との交流や各種イベント等をSNSを用いて幅広く周知するとともに、デジタルサイネージやPOSシステム等のデジタル技術を活かした魅力発信と効率的な運営により、売上向上を図る。</p> <p>○施設整備等(設備整備・用地造成を除く)の内容 【建築物本体工事】104,430千円 【建築物と不可分な設備工事】電気設備30,046千円 機械設備25,349千円 設備監理費 1,848千円</p> <p>○効果促進事業(ハード事業)の内容 【外構解体工事】16,885千円 【外構整備工事】50,451千円</p> <p>○効果促進事業(ソフト事業)の内容 【Wi-Fi及びデジタルサイネージ設置工事】1,952千円</p>		
KPI	<p>①地域における農林水産出荷額(+70,087千円)</p> <p>②新規就農者数(+6人)</p> <p>③農産物直売所売上額(+87,610千円)</p> <p>④年間来場者数(+75,006人)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・効果検証)</p> <p>https://www.city.bando.lg.jp/page/page010226.html</p>

※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【息栖神社周辺拠点施設整備】

拠点補正

申請者	茨城県神栖市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	629,684千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	東国三社のひとつである息栖神社を市のにぎわいを創出する核となる場所として位置づけ、神社周辺の整備と併せて新たな拠点施設を整備し、市の特産品や観光情報などの魅力を発信することにより、交流・関係人口の拡大を市内全域へと波及させ、地域全体の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>物販施設や飲食施設において、特産品の販売や地元の食材を活用したメニューを開発・提供することにより、市のブランド創出・向上や地域消費額の増加、製造者の所得向上を図る。</p> <p>また、情報発信スペースにおいてデジタルサイネージ等のデジタル技術を活用し、他の観光拠点や季節のイベントなど市の魅力を随時発信することで、市内への周遊や繰り返しの来訪を促進する。</p> <p>【息栖神社周辺拠点施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備費：618,684千円 <p>【外構工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内舗装、フェンス等整備費：11,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+133,320千円） ②息栖神社周辺滞在時間（+50分） ③周遊促進効果（+75,000人） ④拠点施設の来訪者数（+142,000人） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.kamisui.baraki.jp/shisei/plan_policy/1010322/index.html</p>

申請者	茨城県境町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	399,911千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>ビッグエアの世界大会が開催可能な国内初の本件施設を整備し運営することにより、施設の利用者、大会や合宿への参加者など様々な交流人口が継続的に来町するほか、この人流を生かす施策、具体的には地方創生関係交付金を活用し整備した施設を含む飲食店や土産物店など施設周辺の商業施設での消費活動を喚起する施策の展開を図ることで、地域経済の活性化に寄与する。さらに、高水準の本件施設を継続的に利用したいと考える移住検討者に対し本町のソフト・ハード両面にわたり充実している移住定住施策を併せてPRしていくことで確実に移住者としていくことで、本町の安定的な成長につなげていく。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>全国初の、(公財)全日本スキー連盟公式大会等が開催可能な滑走ブラシ及びエアーマットを整備するとともに、ビッグエア利用者の利便性を高めるため、受付、トイレ、休憩室、更衣室等を備えたクラブハウスを整備する。</p> <p>また、新スマート物流によるデリバリーを活用したケータリングに加え、自動運転バスやシェアカー、シェアサイクル等を活用したシームレスな移動が可能となるよう整備を推進することで、周辺施設と連携した地域活性化につなげる。</p> <p>※国内にはビッグエアの練習用の類似施設はあるものの、世界大会が開催可能な施設は現時点でなく、本件施設は国内初である。</p> <p>・滑走ブラシ ・エアーマット ・照明施設 ・散水設備 ・スタートゲート及びスタート塔 ・クラブハウス</p>		 <p>ビッグエアフィールド（イメージ図）</p>
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の人口・世帯数（+200人） ②本件施設の利用者数（+20,060人） ③本件施設整備による交流人口の増加数（+2,550人） ④施設来場者等の飲食消費額（+14,695千円）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html</p>

事業概要

【 河岸の街さかい復興プロジェクト

～(仮称)「利根川・境町の水」を活用した特産品開発拠点施設整備事業～】

拠点補正

申請者	茨城県境町	採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	398,902千円	
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野	
目的（効果）	<p>本件施設の整備により、新たな商品の開発生産販売により水と組み合わせる商品（さしま茶）などの生産事業者の所得向上につながる。また、「利根川・境町の水」関係商品のさらなる生産拡大により本町の知名度が向上することで、交流人口や関係人口の拡大にもつながる。こうした動きに連動する形で、本町まちづくり企業が拠点とし、「現代版河岸」でもある道の駅さかいなど新商品を取り扱っている施設への来場者増加、これを支える高速バスなどの公共交通網の活性化が図られることで、本町の観光産業全般が振興され地域経済全体の活性化につながり、本件施設や本町内における雇用の拡大につながる。</p>			
整備内容・利活用方策	<p>「利根川・さかい河岸」の魅力を高め、観光誘客に繋げていくため、「利根川・境町の水」と地元特産品等を組み合わせた新たな商品を研究開発し生産するための施設及び機材等を整備設置する。</p> <p>また、デジタル技術の活用としては、ペットボトルの成型から飲料の充填、ラベリング、印字、梱包まで一連の商品製造過程のすべてを自動化する機器を導入し、効率化と省力化を図る。</p> <p>【建築物本体工事】 210,199千円 【建築物と不可分な設備工事】 70,707千円 【設計費】 1,857千円</p> <p>【機材等設置事業】 67,207千円</p>		 <p>「利根川・境町の水」を活用した新たな特産品（イメージ）</p>	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における農林水産出荷額（+15,180千円） ②当該施設全体の雇用者増加数（+14人） ③当該施設で開発生産された商品を取り扱う町内事業者数（+25件） ④当該施設で出荷された商品の販売額（+75,900千円）</p>		関連URL	<p>https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html</p>

事業概要

【 河岸の街さかい復興プロジェクト ～(仮称)「河岸の街さかい」の魅力発信・well-being向上拠点施設整備事業～】

拠点補正

申請者	茨城県境町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	334,400千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>本施設の整備により、町民満足度・幸福度を向上させるとともに、移住検討者に対し、観光地等として人気の軽井沢に施設を有していることによるメリットを強くPRすることで、本町への移住促進につなげる。また、本施設を拠点として、首都圏からの移住者や軽井沢駅周辺の観光客等に「境の魅力ある食」のPRや新商品等のテストマーケティングを行うことで、「境町ブランドアップ推進事業」の効果を高める。また、本施設を活用して英語教育とスポーツまちづくりの連携を行い、施策が高度化することで、本町のブランド力を高める。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>これまで企業の保養所として利用していた施設を、境町民が余暇を過ごすとともに、「英語合宿」「スポーツ合宿」等を体験することや、「境の魅力ある食」など町のPRを行うことができる施設にリフォームする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本体工事 鉄筋コンクリート造2階建て 169坪のリフォーム ・境町民が家族でワーケーションなどの余暇を過ごすことや、英語合宿やスポーツ合宿ができるよう、間取り変更やキッチン等をリフォーム。 ・干し芋やブランド畜産品、ウナギなどの川魚グルメといった「境の魅力ある食」を手にすることができ、本町の施策（特に自動運転やドローンなどのデジタル施策）をPRするスペースを整備。 ・軽井沢駅周辺での物販を継続的に行うためのスペースを整備。 ○外構工事 大型バスも可能な駐車場の整備。 ○無線LAN 施設の予約管理や物販の在庫管理などを効率よく行うとともに、ワーケーションにも対応可能な通信機器を整備。 		 <p>多くの人でにぎわう軽井沢町</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数（+220人） ②「境の魅力ある食」の販売金額（+11,880千円） ③本町と軽井沢町の交流人口数（+1,400人） ④本件施設の利用者数（+7,560人） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html</p>

事業概要【（仮称）利根町いきがいサポートセンター整備事業】

拠点補正

申請者	茨城県利根町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	185,009千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>小学校統合後の学校跡地について、大型遊具やキッズルームを備えた子育て支援施設、若者から高齢者まで幅広い世代の者がトレーニング等を行うことができる健康増進施設、デジタル技術を活用してeスポーツやテレワークを行うことができる施設、地元の町民団体等が活動の場所として活用できる施設等、様々な役割を備えた大型複合施設として整備する。これにより、町内外からの利用者を獲得し、地域の活性化へつなげる。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>以下の機能を備えた大型複合施設を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民のための健康増進施設 ・子育て支援・交流施設 ・テレワーク等に利用できるコワーキングスペース ・貸出用レンタルスペース ・eスポーツ施設 ・スケートボード施設 等 <p>・既存校舎改修工事費 163,985千円 ・既存設備撤去工事費 7,886千円 ・備品購入費 11,681千円 ・ネットワーク設備改修工事 1,457千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の人口・世帯数(社会増減数)(+325人) ②本施設を活用した各種講座・イベント開催数(+38回) ③本施設の利用者数(延べ人数)(+86,000人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.tone.ibaraki.jp/page/page003526.html</p>

栃木県

申請者	栃木県真岡市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	381,020千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本市で一番の観光入込客数を誇る「いがしらリゾート」の拠点である「真岡井頭温泉」及び「井頭温泉チャットパレス」を、観光ターゲットであるファミリー層に望まれる施設になるようリニューアルを行い、東京圏からの新たな人の流れを創出するとともに、観光情報発信のハブ拠点として活用することで市全域に観光客を周遊させる。		
整備内容・利活用方策	<p>【真岡井頭温泉】282,358千円 子ども連れファミリー層が楽しめ、かつ、東京圏からの誘客促進等を図れる施設へと魅力向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルが融合したファミリーキッズゾーンの整備 ・くつろぎの空間による癒しと食を堪能できる環境の整備 ・キャッシュレスやテレワークなどデジタルによる滞在環境の整備 など <p>【井頭温泉チャットパレス】98,662千円 宿泊による滞在時間の延伸を促すとともに、市内周遊を促進するハブ拠点化に向け、魅力向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・癒しや食などのいがしらリゾートの魅力伝えるための環境整備 ・本市の地域資源の魅力伝える客室の整備 ・市内周遊を促すハブ拠点に向けたデジタルサイネージの整備 など 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">真岡井頭温泉</p>  <p>他施設と差別化を図る「ファミリーキッズゾーン」の整備</p>  <p>Wi-Fi整備によるワーケーションなどへの対応</p>  <p>利便性向上に向けた施設の改修</p> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">井頭温泉チャットパレス</p>  <p>何度も利用したい宿泊施設としての魅力向上</p>  <p>市内集を促すハブ拠点化</p>  <p>ファミリーも利用しやすいレストランの整備</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">くつろぎの空間創出により 観光入込客の増加、地域経済の活性化を図る</p>	
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域における観光消費額（+205,673千円） ② 真岡井頭温泉及び井頭温泉チャットパレス利用者数（+34,158人） ③ 真岡井頭温泉の市外利用者の人数（+58,070人） ④ 井頭温泉チャットパレス（本館）稼働率（+14.1%） 	関連URL	https://www.city.moka.lg.jp/shisei/seisaku_keikaku/4/17947.html

※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【Mibu Love Active ～ 道の駅から始まるLa chic ～】

拠点補正

申請者	栃木県壬生町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	619,590千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	<p>「道の駅みぶ」施設内に、継続的な魅力商品の開発のための「加工所」や地域の柱となる第三セクターの「事務所」、事業者を育てる「チャレンジショップ」等の整備を図り、非常に魅力的な独自の地域資源を効果的に発信し、壬生「らしく」、自分「らしく」…、「らしく」を合言葉とした道の駅を目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>道の駅において、厨房や菓子工房、農産物加工室を含む加工所や第三セクターが経営を行う上で必要となる事務所、チャレンジショップ等を整備する。加工所では付加価値を創出することで魅力の発信を、事務所機能ではコミュニケーションをコンセプトとすることで生産者や事業者等との結びつきを、チャレンジショップでは新規事業者の創業支援を、それぞれに向上させることで地域全体の売上向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工所及び事務所等整備費：496,379千円 ・チャレンジショップ整備費：29,705千円 ・建物外構設備整備費ほかの効果促進事業：93,506千円 		
KPI	<p>①地域における農林水産出荷額（+833,970千円）</p> <p>②施設利用者数（+690,211人）</p> <p>③販売するオリジナル商品の種類（+23品）</p> <p>④商業施設の立寄り割合（+9.00%）</p>	関連URL	調整中



ヒト・モノ・コトを
「ALLみぶ」で
つないでいく

事業概要【稼ぐ力と地域の賑わいを創出するための拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	栃木県壬生町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	43,738千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>本事業により、町民の起業を促すとともに、町民による新たな地域活動を促進し、空き店舗等の利活用による定住人口の増加や、地域の経済活性化及びコミュニティの活性化を図る。これにより、地域の人口減少や地域経済の衰退等の空洞化の抑制、地域の課題解決を目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>旧庁舎の会議室棟であった「ひばり館」をリノベーションし、地域住民の交流促進や経済活性化の起点となるエリアとして整備する。これにより、壬生町内に新しい仕事・町民活動を生み出し、相乗的に本町の魅力を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築リニューアル工事費：34,991千円 ・コミュニティ広場・イベントスペース整備工事：120,000千円（うち、交付対象事業経費：8,747千円） 		
KPI	<p>①地域の人口・世帯数（+220人） ②みぶりんを活用した新規団体立ち上げ数（+105団体） ③コミュニティカフェ売り上げ（+1,350千円） ④チャレンジショップ出店者数（+33店舗）</p> <p>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>



群馬県

事業概要【浅間家畜育成牧場研修施設整備事業】

拠点補正

申請者	群馬県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R7年度（基金事業）	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	460,000千円（172,500千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	浅間牧場の研修施設を更新し、研修内容を刷新することで、これからの酪農を牽引していく人材を育成するとともに、スマート農業の普及を促進させることで、持続可能な力強い酪農経営体の創出と育成を目指す。		
整備内容・ 利活用方策	<p>浅間牧場の研修施設を改修し、公共牧場整備によるICT技術（牛向けのウェアラブルデバイスなど）を活用したスマート農業の手法を研修で学ぶことができる施設とする。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容</p> <p>【建築本体実施設計】 20,000千円</p> <p>【建築本体工事】 建築工事費 255,000千円</p> <p>【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 70,000千円、機械設備工事費 90,000千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容</p> <p>【既存設備解体工事】 25,000千円</p>	 	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①群馬県における農林水産出荷額（+2,438千円）</p> <p>②県内酪農家1戸あたり飼養頭数（+7頭）</p> <p>③人材育成数（+7人）</p> <p>④県内関連機関への就職数（+3人）</p>	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

申請者	群馬県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	1,814,968千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	ぐんまフラワーパークをリニューアルし“花き振興の拠点”としてよみがえらせることで、訪れた人が花への関心を高める→県産花きを購入する→より花への関心が高まる、という観光と花き消費の好循環を創出し、県産花きの生産量・消費量を増加を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>ぐんまフラワーパークを群馬県を代表する集客力のある施設とすることで、県内外から多くの人を呼び込み、県産花きへの関心を高めることで花きの生産増・消費増を目指す。花とデジタル映像・プロジェクションマッピングなどを融合させ、最先端の技術で空間を演出する。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容</p> <p>【建築物本体工事】 ショッピングビレッジ 701,832千円、温室 378,180千円、正面ゲート 153,371千円、甘味処 54,884千円、園内屋外トイレ 110,101千円、東屋 9,815千円</p> <p>【建築物と不可分な設備工事】 高圧受変電設備(キュービクル) 104,785千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容</p> <p>【ランドスケープ工事】 283,795千円</p> <p>【什器】 18,205千円</p>	  	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①群馬県における農林水産出荷額（+3億円）</p> <p>②ぐんまフラワーパークの利用者数（+170,077人）</p> <p>③ワークショップの参加者数（+40,000人）</p> <p>④赤城エリアの観光入込客数（+408千人）</p>	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

事業概要【日本最先端クラスのデジタル・クリエイティブ人材育成拠点整備】

拠点補正

申請者	群馬県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	350,742千円
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	人材面からデジタル化を推進し、「日本最先端クラスのデジタル県」を目指すものである。この事業の推進により、群馬県における雇用の創出・人材の確保や県民所得の向上を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>世界レベルのデジタルクリエイティブ人材育成を目指し、アジア初・日本初となるアルメニア・TUMOセンターの教育プログラムを導入し、TUMO Gunmaを整備・運営する。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容</p> <p>【建築物本体工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事 149,602千円 ・電気設備工事 78,395千円 ・機械設備工事 17,523千円 <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容</p> <p>【デジタル機材・家具等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル機材等 56,525千円 ・家具等 35,957千円 ・デジタルサイネージ 12,740千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン就職者数（+99,000人） ②デジタルクリエイティブ企業の進出数（+20社） ③年間利用者数（+43,263人） ④多様なワークショップ開催数（+60回） 		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証）調整中</p>

事業概要【フォレストベース拠点整備事業】

拠点補正

申請者	群馬県神流町	採択回	令和6年度第1回募集								
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	77,283千円								
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野								
目的（効果）	<p>景観の良いフォレストベース内にランドマークとなる施設を整備し、フォレストベースが目的となる観光誘客や当該施設によるアウトドアを中心とした周遊観光情報やブランド化の促進を図るなど、当町の主要産業である「観光」の強化により、さらなる交流人口・関係人口の増加と雇用創出へと発展する経済の好循環の構築を加速させ、地域産業の活性化へつなげる。</p>										
整備内容・利活用方策	<p>フォレストベースのランドマーク施設を駐車場横に建設し、イベントブース、交流スペース及びワーケーションスペースとして整備する。イベントスペース及び交流スペースでは天候・季節に左右されない様々なコンテンツ等を展開することで、観光振興の強化と雇用創出、仕事創出へと発展する好循環を実現させる。</p> <table border="0"> <tr> <td>フォレストベース整備工事</td> <td>70,730 千円</td> </tr> <tr> <td>外構工事費</td> <td>3,200 千円</td> </tr> <tr> <td>Wi-Fi設備導入工事</td> <td>663 千円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>2,690 千円</td> </tr> </table>	フォレストベース整備工事	70,730 千円	外構工事費	3,200 千円	Wi-Fi設備導入工事	663 千円	備品購入費	2,690 千円		
フォレストベース整備工事	70,730 千円										
外構工事費	3,200 千円										
Wi-Fi設備導入工事	663 千円										
備品購入費	2,690 千円										
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①町内観光消費額（+52,000千円） ②町内観光入込客数（+46,000人） ③イベント等開催日数（+61日） ④フォレストベース拠点施設利用人数（+8,300人） 	関連URL	https://www.town.kanna.gunma.jp								

埼玉県

事業概要【小川町地域活性化交流拠点整備事業】

拠点補正

申請者	埼玉県小川町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	1,017,236千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	町の総合戦略の基本的な考え方である「町の地域資源（観光資源や地域食材）を有効に活用し、未来に向けた町の魅力度の向上を目指す取組」として、小川和紙（伝統工芸）、物販、レストラン等の機能をもった「道の駅おがわまち」を、地域資源を有機的に捉え観光振興を図るための中核施設として整備し、人の流れを呼び込み町全体の活性化に結び付ける。		
整備内容・利活用方策	<p>手漉き和紙と有機農業をコンセプトに、道の駅おがわまちの再整備を行う。</p> <p>【伝統工芸施設の大規模改修】 紙漉き体験、クラフト体験、展示、伝統工芸品販売等。</p> <p>【産業地域振興施設新設】 地元産農産物や加工品、オリジナル商品などの売店、地元食材を活用したレストラン、商品開発を行う工房等。</p> <p>【周辺整備（外構・駐車場等）】 ハイキングや自転車等での町内の周遊など滞在時間を確保できるような観光駐車場等。 ・整備費 1,406,878千円</p>	 <p>産業地域振興・休憩施設（新築）</p> <p>伝統工芸施設（改修）</p>  <p>イメージ 図</p>	
KPI	<p>① 地域における観光消費額（+19.4億円）</p> <p>② 観光客数（+111千人）</p> <p>③ 施設売上高（+306,527円）</p> <p>④ 電動自転車等の利用件数（+1,125件）</p>	関連URL	https://www.town.ogawa.saitama.jp

事業概要【交流・関係人口創出のためのフレンドシップ・ハイツよしみ再生整備事業】

申請者	埼玉県吉見町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	399,748千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本町唯一の宿泊・温浴施設であるフレンドシップ・ハイツよしみをリニューアルし、近年高まりつつある地域資源を活かした「コト消費」による滞在型・交流型観光の需要を地域に取り込み、交流人口、関係人口（企業や人材）を拡大することで、観光産業の活性化と地域課題を同時に解決する地方創生を実現する。		
整備内容・利活用方策	<p>五感を通じたリアルとデジタル技術をミックスした情報発信など、スマートでおしゃれな空間を創出するとともに、コト消費観光客が体験・活動後に温浴・休憩・食事ができる環境を整備することで、拠点間や広域の周遊、リピート来訪を実現する。</p> <p>従来は紙ベースであった観光案内をデジタルサイネージで実施し、一目でわかりやすい情報発信を通じて、宿泊者の回遊・周遊の動機づけにつなげるとともに、自動精算機システムやスマートフォンによる鍵管理により省力化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレンドシップ・ハイツよしみ改修工事費：361,776千円 ・デジタルサイネージ等設置費：37,972千円 		
KPI	<p>①地域における観光消費額（+45,000千円）</p> <p>②フレンドシップ・ハイツよしみにおける宿泊売上（+12,710万円）</p> <p>③「小中学生のスポーツ合宿」以外の売上比率（+20%）</p> <p>④ふるさと納税返礼品における体験型の増加件数（+9件）</p>	関連URL	https://www.town.yoshimi.saitama.jp/index.html

※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値

神奈川県

事業概要【日本初！「やどりきネイチャーポジティブアカデミー」整備事業】

拠点補正

申請者	神奈川県松田町	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	84,304千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	平成30年度末をもって閉校となった、旧寄中学校の校舎を改修し、山間部である松田町寄地区の基幹産業である農林業（一次産業）を核とした地域の活性化を図るため、持続可能な一次産業アカデミーとして、「農林水産業×ネイチャーポジティブ」を学ぶことができる日本初となる「やどりきネイチャーポジティブアカデミー」を整備するもの。		
整備内容・利活用方策	<p>持続可能性をテーマに、農林業の担い手を確保していくための各種プログラムを実施するほか、地域の農産物を活用した6次化商品の製造、販売戦略など、生産から加工、販売までを一気通貫で学ぶことができるアカデミーとすることにより、持続可能な経営力を持つ農林水産就労者を育成し、地域全体の稼ぐ力を創出する。</p> <p>特に養鶏業の分野においては、鶏にセンサーをつけて動きを管理したり、水やりの装置を遠隔で操作するなど、AI技術を活用したスマート養鶏事業の現場をモニタリングできる環境を本施設に整備し、学習プログラムの提供を行うことで、デジタル技術を活用した効率的な農林水産業の経営を実践していくことができる人材の育成を図る。</p> <p>【整備内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築改修工事 62,017千円 【建築物と不可分な設備工事】 機械設備改修工事 2,520千円、電気設備改修工事 1,890千円 【設計業務及び工事監理業務】 設計業務及び工事監理業務委託料 5,280千円 ○効果促進事業の内容 ・ハード事業 フェンス設置工事 12,597千円 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における農林水産就労者数（+50人） ②本事業で新たに開発する商品数（+50種） ③本施設で実施する受講者数（+3,700人） 	関連URL	https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/chihouseisei/

※カッコ内の数値は供用開始5年後の「KPI増加分」の目標値

福井県

事業概要【ふくい水産学術産業拠点整備事業】

拠点補正

申請者	福井県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	253,792千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	県内において民間事業者の新産業創出や事業拡大、スマート化技術導入などの本県水産業の成長促進や雇用拡大ならびに既存の漁業者や漁協組織等との連携による地域活性化		
整備内容・利活用方策	<p>水産学術産業拠点「かつみ水産ベース」での民間事業者との共同研究に必要となる海水供給を行うための海水ろ過棟を改修整備し、IoTセンサー等を活用したスマート技術によるウニ類の陸上養殖実証および品種改良研究、高成長・低コストの魚類の餌料開発に関する共同研究を行う。</p> <p>・施工費 253,792千円</p>		
KPI	<p>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</p> <p>①地域における漁業出荷額（+177,000千円）</p> <p>②水産学術産業拠点を活用した共同研究件数（+5件）</p> <p>③水産業（養殖）で活躍する人材の育成及び確保（+17人）</p> <p>④事業化を見据えたICT・IOT技術の導入（+5件）</p>	<p>関連URL</p>	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中</p> <p>（効果検証）調整中</p>



事業概要【星空の世界遺産『星空保護区』認定 六呂師高原 宿泊・拠点整備事業】

拠点補正

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	福井県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	266,309千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	「星空保護区」にも認定された六呂師高原に、新たな誘客の目玉として、車が入り出できる電源ポール付きの高規格のオートサイトキャンプ場およびサウナ施設等の宿泊・滞在拠点を整備し、観光を通じた交流人口の増加と観光消費の拡大を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>宿泊・滞在拠点としてのキャンプ場活用だけでなく、学校行事等の受入先やワーケーション施設、イベント開催地として活用していくとともに、電子決済設備、Wi-fi設備等のデジタル技術活用により、施設滞在時の快適性の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 <ul style="list-style-type: none"> 【建築物本体工事】 建築工事費97,865千円、設計・工事監理費20,167千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費30,140千円、給排水設備工事費 25,666千円 【既存施設改修工事】 改修工事費 16,133千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 <ul style="list-style-type: none"> 【敷地造成他工事】 敷地造成他工事費54,705千円、インスタントハウス整備費13,200千円、設計費3,300千円 【デジタル設備設置費】 5,133千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+32,000,000千円） ②施設の利用者数（+21,800人） ③公の施設として貸し出す団体数（+55団体） ④地元雇用者数（+9人） 	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中



事業概要【越前鳥の子紙の拠点整備による産業観光誘客及び伝統継承事業】

拠点補正

申請者	福井県越前市	採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	52,000千円	
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野	
目的（効果）	越前和紙の産地である五箇エリアに、ユネスコ無形文化遺産の登録候補となった「越前鳥の子紙」の研修場を整備し、産業観光のランドマーク機能を持たせ、県内外に越前和紙を中心とする市内の伝統工芸の魅力を発信し、来訪者数を増加させることで、交流人口の増加を図る。			
整備内容・利活用方策	<p>越前鳥の子紙の技術継承及び後継者育成のための活動を行う「越前生漉鳥の子紙保存会」の研修場を整備するとともに、産業観光の拠点として、「越前鳥の子紙」の紹介や紙漉き体験をできる機能を持たせることで、これまで知られてこなかった越前鳥の子紙の原材料や一流の手漉き技術、製作に必要な道具など様々な情報の発信・提供する。</p> <p>キャッシュレス決済の導入により利便性の向上を図るとともに、デジタルサイネージにおいて多くのコンテンツを配信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮）越前鳥の子紙研修場改修費52,000千円 		  	<p>左上：越前鳥の子紙 右上：紙漉き風景 左下：改修予定の倉庫</p>
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①観光消費額（+28百万円） ②観光客入込数（+5,200人） ③越前和紙従業者数（+3人） ④越前和紙生産額（+50百万円）</p>		<p>関連URL https://www.city.echizen.lg.jp/</p>	

事業概要【バフウニ陸上養殖施設整備事業】

拠点補正

申請者	福井県坂井市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	83,809千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	海女人数の減少に伴い、減産の続く日本三大珍味である塩ウニを、海洋環境の変化に影響を受けない陸上で養殖生産する施設を整備し、塩ウニを安定的に生産する過程で得られる海女の新たな収入や加工技術の伝承を図ることで、新たな担い手を確保し地域の活性化へと繋げる。		
整備内容・利活用方策	<p>陸上養殖施設において、バフウニを養殖し加工して塩ウニの生産を行うとともに、水質監視システムの活用により効率的で安定した生産体制の確立を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】建築工事費 38,896千円 【建築物と不可分な設備工事】電気設備工事 8,173千円、 機械設備工事 21,670千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容 【外構工事費】4,664千円 【加工室設備整備費】4,301千円 【水質監視システム導入費】6,105千円</p>	 <p>← 養殖 ✓ 加工（身出し） ↓ 加工（殻割り）</p>	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①陸上養殖生産による塩ウニ生産額（+5,000千円）</p> <p>②新規海女就業者数（+2人）</p> <p>③天然バフウニ資源量（+156g/人/日）</p>	関連URL	https://www.city.fukui-sakai.lg.jp/kikakuseisaku/shisei/k-eikaku/sogo-senryaku/dai2ji-sougousenryaku.html

山梨県

事業概要【都留フィールド・ミュージアム（仮称）整備事業】

拠点補正

申請者	山梨県都留市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	815,772千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>今回新たに整備する「都留フィールド・ミュージアム（仮称）」と周辺の既存施設を含めたエリア一帯において、産、官、学、民の相互連携による子どもから大学生、高齢者までのあらゆる世代の交流を通じて「新規産業の創出」や「地元企業への就業」、「移住の促進」など、様々な「暮らし方」に特化したコンテンツ発信を行い、人口減少・少子高齢化を克服し、総合計画で定める将来像「ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる」の実現を目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>「都留フィールド・ミュージアム（仮称）」には、現在、都留文科大学内において地域づくりのための様々な活動と研究を行っている「地域交流研究センター」を移転・設置し、地域と密接な連携手法の研究や実践を行っていく、ドゥ・タンク機能を持つ「地域内シンクタンク」として活動を活発化させていく。また、Wi-Fi整備によるオンラインミーティングへの対応や実施するイベント・講座へ大学において研究しているVR技術を導入する等、デジタル技術の活用とともに学生・市民が新たな技術に触れることのできる施設整備とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備工事費 542,310千円 ・外構工事費 13,670千円 ・ネットワーク環境整備費 3,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口・世帯数（+150人） ②都留文科大学学生の地域貢献活動に参画する者の割合（+33.0%） ③都留文科大学卒業生の市内定着率（+0.6%） ④本施設の一般市民・団体による施設利用回数（+650回） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/soshiki/kikaku/seisaku_t/13444.html</p>

事業概要【葦崎大村記念公園賑わい創出、地域の魅力発信事業】

拠点補正

申請者	山梨県葦崎市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	121,948千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	葦崎大村記念公園内に、日本の伝統文化である「茶室」を整備し、公園内の官民施設と連携したイベントの実施や地元農産物を使った新商品の開発及び周辺地域の自然歴史文化資源を活用したまちあるきツアーの実施を進めることにより、交流人口の増加と文化芸術観光の振興を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>葦崎大村記念公園内において、旧畠山一清邸新座敷（茶室）等の移設復元と水屋の増築を行い、関係団体と連携したイベントの開催や地元農業法人と共同した新商品開発等を行うとともに、デジタルサイネージやデジタルコンテンツ（AR）のデジタル技術活用により、公園内施設及び周辺地域の誘客向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶室、水屋、腰掛待合整備費：113,610千円 ・ARコンテンツ制作費：8,000千円 ・デジタルサイネージ設置費：338千円 		
KPI	<p>①地域における観光消費額（+29,670千円）</p> <p>②葦崎大村記念公園エリアの来場者数（+4,646人）</p> <p>③観光交流拠点（茶室）の年間利用回数（+111回）</p> <p>④観光・交流に対する市民満足度（+0.6%）</p>	<p>関連URL</p>	<p>（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証）</p> <p>https://www.city.nirasaki.lg.jp/shikiichiran/digitalsenryakuka/jinkotaisakutanto/1_3/9026.html</p>



※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【道の駅西嶋和紙の里（仮称）整備事業】

拠点補正

申請者	山梨県身延町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	313,400千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	既存施設の「西嶋和紙の里」を「道の駅」として再整備し、本町の地域特産物である「あけぼの大豆」をはじめとした農産物の販売と「あけぼの大豆」を常時食べることができるスポットとするとともに、伝統工芸品である「西嶋和紙」とともにブランディングし、人々の交流を促進させ地域の拠点とすることを再整備の目的とする。		
整備内容・利活用方策	<p>道の駅において、地域特産品の「あけぼの大豆」を使った食事の提供や伝統工芸品である西嶋和紙のPRや振興を図るとともに、デジタルサイネージ等のデジタル技術活用により、売上向上を目指す。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容</p> <p>【建築物本体工事】 建築工事費 121,400千円</p> <p>【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 32,700千円、機械設備工事費 66,500千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場再整備工事費：43,900千円 ・デジタルサイネージ設置費：5,800千円 ・芝生広場内遊具整備費：21,900千円 ・厨房機器整備費：10,400千円 <p>○効果促進事業（ソフト事業）の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家具備品整備費：10,800千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の人口・世帯数（+110人）</p> <p>②観光入込客数（+5,492百人）</p> <p>③道の駅年間来場者数（+627百人）</p> <p>④道の駅年間売上高（+153,909千円）</p>	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証）調整中

事業概要【モバイル建築を活用した住宅整備による移住促進事業】

拠点補正

申請者	山梨県丹波山村	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	99,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>移住希望の数に対し供給が追いついていない賃貸用住宅を、モバイル建築を活用して整備し、山村留学や地域おこし協力隊などの制度による都市部からの移住を促進する。若い世代の移住者を増やしていくことで、人口減に歯止めをかけ、人口の若返りを図る。また、今般の能登半島地震のような大規模災害の発生時には、被災地へ住宅を貸し出したり、避難者の受入拠点として転用できるようにしたりすることで、災害に対する社会的備蓄を進める。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>一般住宅と同等以上の安全性、耐久性、断熱性を備えた住宅を、モバイル建築を活用して村内に整備し、移住者に快適な住環境を提供する。子育て世帯用の住宅としても、単身の若者用のシェアハウスとしても活用できる広さと性能を備えることで、住宅の活用の幅を広げ、効果的な移住者の受入を実践する。</p> <p>施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費71,500千円 【建築物と不可分な設備工事】 設備工事費27,500千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①UIターン数（+50人） ②住宅稼働率（+450%） ③移住問合件数（+70件） ④現地見学者数（+45人） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp</p>

長野県

事業概要【魅力ある信州農業の実現に向けた信州首都圏総合活動拠点機能強化事業】

拠点補正

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	長野県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	96,068千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	信州首都圏総合活動拠点（銀座NAGANO）の店舗を改修し、長野県を代表する農産物である果物などの青果物を中心とした売り場展開ができるようにすることで、本県農業のブランド力向上を図り、農産物の高価格販売につなげ、小規模な生産者であっても稼げる農業の実現に貢献する。		
整備内容・利活用方策	<p>信州首都圏総合活動拠点を改修し、1階入口正面に青果物の販売やテストマーケティングができるスペースを設置するとともに、2階に新たに酒類専門の販売コーナーを新設する。また、会員アプリやセルフレジ、キャッシュレス決済などのデジタル技術を導入し来館者の利便性向上を図るとともに、顧客ニーズにあった商品情報を提供することで購入行動につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗改修：82,072千円 ・システム導入費：13,996千円 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①農業産出額（+121億円） ②施設売上（+2,702万円） ③アプリ会員（+25,000人） ④テストマーケティング参加者（+52人） 	関連URL	https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/index.html

事業概要【生物資源を活用した茶臼山動物園活性化事業】

拠点補正

申請者	長野県長野市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	365,200千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	集客拠点である長野市茶臼山動物園において、人気が高く希少動物であるアムールトラの行動や生態を観察できる展示学習スペースと地域の特産物を販売する物販スペースを併設した複合施設を整備し、動物園の集客力と物販機能を高め、交流人口の増加と観光消費の拡大を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>展示学習スペース（屋外含む）において、屠体（とたい）給餌によるアムールトラの野生的な行動を展示するとともに、増加する捕獲動物の残渣の資源化につなげ、物販スペースでは、地元産のジビエ食材や農産物を販売し、観光消費の拡大につなげる。</p> <p>また、施設周辺のWi-Fi環境の整備により、来園者によるICTを活用した情報の発信・受信機能を高め、観光誘客効果を高める。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 195,800千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気設備 26,400千円、機械設備 36,300千円 【施工監理】6,380千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容 【屋外展示施設整備工事】 解体工事 22,000千円、屋外展示 69,300千円 【デジタル設備整備工事】 Wi-Fi設備 6,600千円 【施工監理】2,420千円</p>		 <p><アムールトラの生息環境展示イメージ></p>
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における観光消費額（+28,100千円）</p> <p>②茶臼山動物園来園者数（+30,000人）</p> <p>③SNS公式サイトフォロワー数（+21,000件）</p>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p005096.html</p>

事業概要【交流人口増加に向けた、みんなに愛されみんなとつながる動物園再整備事業】

拠点補正

申請者	長野県小諸市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	360,033千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	<p>小諸市動物園と一体となった小諸城址・懐古園は本市最大の観光拠点だが、1997年以降来園者が減少。また、動物園は、県下最古の歴史ある動物園で、施設の老朽化や動物の高齢化、動物福祉に考慮した獣舎の改修など様々な課題に直面しており、2026年動物園開園100周年の節目に向けて、更なる魅力向上のため新規動物の導入や獣舎整備を行い、幅広い層を誘客することで交流人口の増加と観光振興及び商業活性化を目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>動物がいきいきと過ごせる獣舎や、これからもみんなに愛され、「また行きたい」と思ってもらえるような施設整備、動物や小諸城址・懐古園の四季折々の風景をライブ配信することで誘客を図り、入園料の増加による持続可能な施設を目指す。</p> <p>また、市LINE公式アカウント「信州こもろ・こま〜す」で電子チケットの購入を可能とすることで来園者の利便性を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物獣舎、トイレ等建築工事 306,764千円 ・解体、外構工事 53,269千円 ・動物等ライブ映像配信等 2,333千円 ・電子チケット導入アプリ改修委託料 1,800千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+2,043円/人） ②小諸城址・懐古園の有料入園者数（+228.2百人） ③観光地入込数（+9.9万人） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.komoro.lg.jp/so-shikikarasagasu/somubu/kikakuka/3/1/6/14966.html</p>

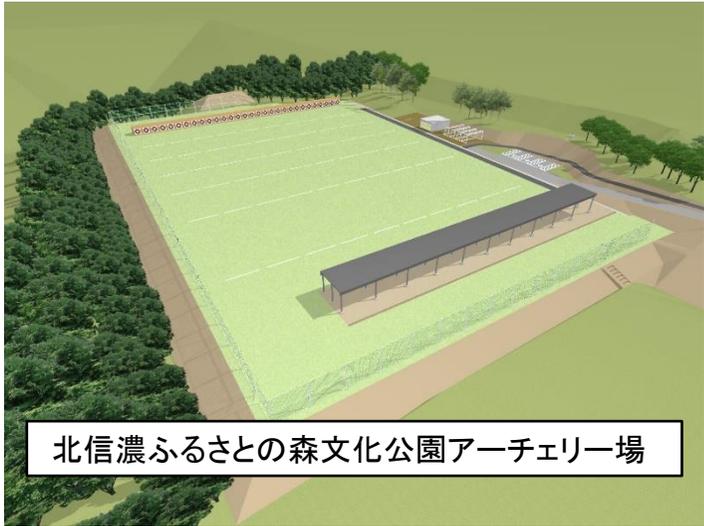
事業概要【若者から子育て世代まで多様な居場所づくりと交流の場整備事業】

拠点補正

申請者	長野県中野市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	85,700千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>中心市街地に子育て支援拠点とソロワーク環境、賑わい創出環境が集約された「若者から子育て世代まで多様な居場所づくり等交流拠点施設」を整備し、中心市街地の賑わいと活力を高めるとともに、各種相談など子育て世代に必要な対応をワンストップで行える施設を整備することで、住み良さで選ばれるまちを目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>子育て世代のニーズに対応した天候に左右されない屋内遊戯と若者やビジネス環境として要望が多いソロワークスペース、夜間の賑わいを生む光による賑わい創出エリアを整備し、市民の満足度向上と中心市街地の活性化を図る。</p> <p>また、自立サイネージを活用した多言語観光案内やデジタルアーカイブの配信を行い、周辺地域の誘客向上を図る。</p> <p>【経費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内装工事費：60,000千円 ・プロジェクションマッピング及び駐車場等整備工事：25,700千円 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">施設イメージ</div>  <p style="text-align: center;">(子育て支援拠点) (ソロワークスペース)</p>	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数（+200人） ②施設利用者数（+20,000人） ③関連イベント参加者数（+50,000人） 	関連URL	令和6年6月公表予定

事業概要【北信濃ふるさとの森文化公園アーチェリー場利用促進整備事業】

拠点補正

申請者	長野県中野市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	31,945千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	北信濃ふるさとの森文化公園多目的グラウンドの全天候型の屋根付きアーチェリー場に、夜間照明や備品倉庫、障がい者の方にもやさしい多目的駐車場等の整備を行うことで、誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションに親しめる環境と利用者の地域課観光周遊に伴う地域全体の経済活性化を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>雨天・降雪時でも利用できる屋根付きの全天候型アーチェリー場に、夜間照明や備品倉庫、多目的駐車場等を整備し、施設の魅力及び利便性を高め、自然環境・利用目的に合った施設の機能強化を図る。</p> <p>また、公衆用無料Wi-Fiを整備し、大会運営時のデータ管理や大会のリアルタイムな情報発信を行う。</p> <p>【経費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーチェリー場施設整備工事：25,575千円 ・競技場夜間照明及び多目的駐車場等整備工事：6,370千円 		 <p>北信濃ふるさとの森文化公園アーチェリー場</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+2億1,500万円） ②施設利用者数（+8,469人） ③施設利用時間（+664h） 		<p>関連URL</p> <p>令和6年6月公表予定</p>

申請者	長野県松川町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	263,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	南信州まつかわの大自然と人が育む文化・恵みを五感で味わうスローツーリズムを達成するため、自然や文化が体感でき、人々とふれあいゆったりと自分時間を過ごすことができる拠点を整備することで、関係交流人口を増やす。		
整備内容・利活用方策	<p>都市部から訪れた夫婦やカップルが、ゆったりと流れる時間を満喫してもらえるように、施設全体に木を感じられるように改修を進めます。</p> <p>また、3世帯家族が、1つの部屋でのんびりと過ごせるように、客室を拡充します。</p> <p>南信州まつかわの滞在拠点として、くだもの狩りや森林セラピー、森林散策、星空観察、フォレストアドベンチャー、ガストロミーなどの自然体験プログラムとの連携により、南信州ならではの魅力を体感し、満喫してもらうことで、地域再訪の促進を図ります。また、AIによるレベニューマネジメント（価格設定と在庫管理の最適化）を導入し、AIによる業務効率化と、価格による機会損失を少なくし、客室稼働率を向上させます。</p> <p>清流苑大規模改修設計監理費：33,000千円 清流苑大規模改修工事費：230,000千円 デジタル技術の導入（ソフト）：30,000千円</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin: 0 20px; font-size: 2em;">➔</div>  </div> <p style="text-align: right;">改修後（イメージ）</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①地域における観光消費額（+125,000千円） ②信州まつかわ温泉清流苑宿泊者数（+3,600人泊） ③来訪者満足度調査における「大変満足」の割合（+5%） ④滞在交流体験プログラムのうちガストロミーの来訪者数（+250人）		関連URL https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html

事業概要【南アルプス山麓の山村資源を活用した都市部からの誘客事業】

拠点補正

申請者	長野県松川町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	119,815千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	<p>既存の誘客及び交流施設である梅松苑のコテージ等を現在のニーズに沿った整備をし、リニア開通後とアフターコロナ時代における当町の過疎地域の特色でもある自然あふれる地域資源を強みとした体験コンテンツを展開することによる、当該地域の交流人口増加による過疎を脱却した、持続可能な地域を目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>梅松苑において、指定管理者、町DMO、当該地区住民と連携した地域資源や特色を活用したプログラム作成、プロモーションを展開し誘客促進を図る。</p> <p>また、Wi-Fi整備を行うことで、山間部におけるインターネット環境の充実させ、ライブ配信等による新たな客層の増加を図る。</p> <p>既存コテージの5棟の改修費：90,046千円 サウナ棟の設置費：25,356千円 キャンプサイト改修費：4,413千円</p>		 <p>改修前</p>  <p>改修後（イメージ）</p>
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①…地域における観光消費額（+39,000千円） ②…生田地区観光宿泊施設宿泊者数（+450人泊） ③…来訪者満足度調査における再来訪意向率（+25%） ④…社会増減数（▲14人）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html</p>

事業概要【過疎地域における廃校を活用した新しいコミュニティ創出拠点整備事業】

拠点補正

申請者	長野県松川町	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	3,410千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	町東部の山間地に位置し廃校となっている旧松川東小学校を拠点とし、デジタルファブリケーションラボ改修による施設の充実化を図り、施設の窓口や受付機能を付加することにより、そこに集うコミュニティや都市間交流、観光交流者、地元住民同士が繋がる仕組みや場所をつくりだし、新しいコミュニティの共同体が形成され活用されることで、失われつつある地域のアイデンティティを取り戻し、地域活性化へとつなげ、地域一体となって移住者を呼び込むことができる。		
整備内容・利活用方策	<p>○既に複数の団体に活用され始めてきている旧松川東小学校を、地域外人材による新たなコミュニティや、既存コミュニティ同士の新たなつながりを生む新しいコミュニティ形成拠点として整備する。</p> <p>○当施設で活動する地域おこし協力隊に、既存コミュニティの活動や、移住者との交流活動で生まれたつながりを地域へつなげる窓口・受付機能を持たせる。空間の拡充整備とウッドデッキを設け、住民や移住希望者等の体験統括を行うとともに、実際に来られた方のコミュニティ同士を、受付が橋渡し役となり、交流を図る。</p> <p>○若者がデジタル木材加工機(ShopBot)を活用し、3Dデータや設計データの作成から、ものづくりを行うことでデジタル人材の育成につながる。また、ものづくりの元になる木の生育から伐採、加工、製品としての使用まで一連の循環をプログラムとして体験してもらうことで、林業への理解の促進や地域への愛着を醸成し、UIターン者の増加につなげる。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容</p> <p>【建築物本体工事費】 デジタルファブリケーションラボ改修費：3,410千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始5年後の「KPI増加分」の目標値	<p>①地域へのUIターン数（+32人）</p> <p>②旧東小学校の利用者数（+864人）</p> <p>③旧東小学校の利用団体数（+12団体）</p> <p>④該当地区を拠点とした観光交流ツアー売上高（+6,310千円）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html</p>

岐阜県

事業概要【中山間地域の漁業振興のための魚類研究飼育施設整備計画】

拠点補正

申請者	岐阜県	採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	71,894千円	
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野	
目的（効果）	<p>飛騨地域を中心とした中山間地域の漁業の持続的な発展に向け、養殖業において高収益化が期待できる新たな品目の創出、また河川漁業では「冷水病」に強い鮎種苗の開発などを進め、漁業の安定化を図る。</p>			
整備内容・利活用方策	<p>既存の水産研究所下呂支所について、中山間地域で求められる鮎・イワナがそれぞれの魚種に適した環境で飼育ができるように、既存施設を改修し、新規飼育設備を導入する。</p> <p>また、IoTセンサーを用いて水位・水温を遠隔で監視できる装置を導入することにより、スマート水産業技術による飼育管理の効率化を図る。</p> <p>【経費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮎研究飼育施設整備費：51,262千円 ・イワナ研究飼育施設整備費：19,766千円 ・水位・水温遠隔監視装置導入費：866千円 		 <p>鮎研究飼育施設整備地</p> <p>イワナ研究飼育施設整備地</p> <p>イワナ屋外飼育池整備地</p>	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域における農林水産出荷額（+170百万円） ② 県保有イワナ系統数（+2系統） ③ 中山間地漁場向け供給鮎種苗系統数（+2系統） 		関連URL	https://www.pref.gifu.lg.jp/page/280569.html

事業概要【山県市の観光拠点アウトドアツーリズムセンター整備事業】

拠点補正

申請者	岐阜県山県市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	53,722千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本市の北部地域において観光案内施設の整備、体験型アクティビティイベントの企画・運営、観光DXの推進、既存観光地の魅力度・収益アップを図り、北部地域を持続可能な観光地としての姿を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>施設において、市内観光・アウトドアに関する情報発信及び観光案内所としての事業展開をベースに、地域資源を活かした体験アクティビティ活動の企画・運営を実施し、地域住民も含めた地域にある観光資源、アウトドアフィールドの魅力を感じてもらう機会を創出し観光振興の活性化を図る。</p> <p>また、デジタルサイネージの設置により、多言語で観光情報を配信することで、外国人観光客の受入環境の整備を図るとともに、デジタルサイネージの操作ログから利用者の行動を分析することで、観光客のニーズの把握にも活用する。</p> <p>【経費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存建物解体工事費：4,937千円 ・建築工事実施設計費：4,000千円 ・施設建築工事費：44,785千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ① 山県市アウトドアツーリズムセンターの来客者数（+140,000人） ② 体験型アクティビティの利用者数（+1,400人） ③ 市内観光入込数（+102,000人） ④ 市内の観光消費額（+552百万円） 	関連URL	https://www.city.yamagata.gifu.jp/soshiki/kikaku/17692.html

静岡県

事業概要【中山間地の廃校を活用した観光拠点整備事業

（南アルプスユネスコエコパーク・ミュージアム整備事業）

拠点補正

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	静岡県静岡市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	398,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本市の中心市街地から井川地区に向かう県道・南アルプス公園線のトンネル建設工事が進む中、同地区の廃校を活用し、展示・レストラン等の機能を持った「南アルプスユネスコエコパーク・ミュージアム」を整備する。民間事業者、地域住民、隣接する川根本町等と連携して観光資源を最大限活用し、誘客を促進するとともに観光消費の拡大を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>展示室を整備し、南アルプスの自然環境について学べるコンテンツをデジタルサイネージ等で提供するほか、井川地区で使用されてきた民具を展示することで、地域独自の文化資源の保全・活用につなげる。さらには、民具を3,000点以上集め、国の有形民俗文化財の指定を目指す。また、レストランでは、在来作物を活用した食事を提供し、観光客の滞在時間の延長、観光消費額の増加につなげるとともに、地域経済の活性化を図る。併せて、施設内で上映する南アルプスの魅力を伝える映像など、展示の一部をメタバース空間でも体験できるように整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示室・レストラン等整備工事：367,000千円 ・駐車場設備整備工事：31,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+530,000千円） ②来訪者の満足度（+2.8%） ③収集した民具の数（+2,100点） ④メタバースの利用者数（+300人） 	関連URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000334.html

申請者	静岡県牧之原市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	602,580千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	富士山静岡空港が立地し、周辺地域と当市の企業集積地の結節点となる地区に、産直、物販、レストラン等の機能をもった「道の駅」を整備し、地元農産物を使いブランド化による付加価値の向上、商品化による販売方法の多様化を支援するとともに、農業者の販路拡大を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>茶のブランド化・商品化による付加価値の向上と販売促進及び果物類のブランド化・商品化による付加価値の向上と販売促進を図る。</p> <p>【本施設の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい産直棟、飲食交流棟整備費：581,035千円 ・ふれあい産直POSシステム整備費：21,246千円 ・ふれあい産直棟専用デジタルサイネージ整備費：299千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における農林水産出荷額（+114,420千円） ②施設の総売上額（+305,745千円） ③生産者との契約数（+120件） ④地域の特産物を使用した加工品の商品開発数（+90個） 	関連URL	なし

事業概要【歴史文化を活用した観光交流促進拠点整備事業】

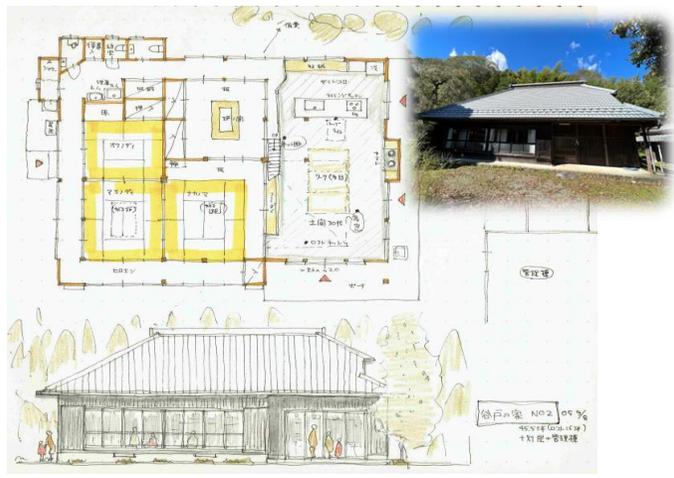
拠点補正

申請者	静岡県牧之原市	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	25,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	史料館の既存施設の模様替えを行い、展示物や地域の歴史文化資源をデジタル技術を活用して情報発信するとともに、史料館を市内周遊の拠点として、市内周遊アプリの運用や問い合わせへのワンストップ対応を行う拠点として活用することで、交流客数、消費単価の増加を図り観光誘客の好循環の創出を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>史料館において、市内全域の歴史資源の紹介を行うとともに、マリネジャーや食などの観光資源の情報発信や、関連イベントの継続的な実施や特産品販売などを合わせて行う拠点機能を整備する。</p> <p>デジタルサイネージの設置により、地域の歴史文化資源や観光・グルメの情報などの多言語表記による情報発信とあわせて、タッチパネルによるアンケートを実施し、利用者と史料館運営側の双方の情報交換によって、史料館入館者のニーズや動向を把握し、市の観光誘客や周遊促進に反映する。また、市内周遊デジタルアプリとデジタルサイネージを連携させることで、より多くの観光客に周遊を促す効果が得られるとともに、アプリの利用者数の増加等につなげる。</p> <p>○施設改修工事等（設備整備・用地造成を除く）の内容</p> <p>【2階ホール設備改修】：14,000千円 【2階物産販売ブース整備】800千円 【階段昇降機設置工事】3,200千円 【1階、2階のトイレ改修】7,000千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始5年後の「KPI増加分」の目標値	<p>①地域における観光消費額（+3,250,000千円）</p> <p>②市史料館の事業収入（+2,962千円）</p> <p>③市史料館の入館者数（+37,000人）</p> <p>④市史料館と連動したイベント数（+11件）</p>	関連URL	調整中



事業概要【多世代交流拠点「谷戸山のいえ」整備事業】

拠点補正

申請者	静岡県小山町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	94,967千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>里山の麓にあるホテルが飛び交う古民家を「谷戸山のいえ」としてリノベーションし、こどもたちの里山体験活動や環境学習、里山再生事業など地域住民が運営・参画するプロジェクトのフィールドとすることで、多世代交流が生まれ、人口減少や高齢化により衰退した地域コミュニティの再生を図り、地域の魅力・活力を向上させる。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>地域の農家や有識者を中心に設立するNPO法人が、地域住民を巻き込み里山体験活動などを実施できる拠点を整備し、耕作放棄地の活用や荒廃山竹林整備による活動収益を得ることで持続可能な活動とする。 Wifi環境を整え、SNSやHPを作成して効果的な情報発信を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷戸山のいえ整備費：87,114千円 ・外構工事費：7,254千円 ・Wi-Fi機器設置費：599千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の世帯数（+50世帯） ②多世代交流拠点「谷戸山のいえ」の利用者数（+7,000人） ③谷戸山のいえを活用した環境学習参加者数（+400人） ④受託・販売売上実績（+2,500千円） 		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>

愛知県

事業概要【世代促進温室整備事業】

拠点補正

申請者	愛知県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	109,803千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	老朽化した温室から新たに整備する世代促進温室へ機能を移転することにより、品質及び収量性に優れた水稻及び小麦品種の開発体制を強化する。これにより、生産者は質の高い農産物の安定生産が可能となり、生産者の農業所得が向上し、農業出荷額が増加することで本県水田農業が持続的に発展する。		
整備内容・利活用方策	<p>天窗・側窓及び各カーテンの自動開閉装置を導入することで室温や日長の自動制御を可能とする新たな世代促進温室を整備する。併せて、米のおいしさや小麦の加工適性を数値化する味度メーター及び糊化特性測定装置を整備することで、高品質・多収性の優良品種の開発を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代促進温室整備費：90,303千円 ・既存温室解体工事費：2,851千円 ・測定機器整備費：16,649千円 	 <p>交配の様子</p>	 <p>世代促進温室内（イメージ）</p>
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①米・小麦の出荷額（合計）（+14億円） ②高温耐性品種の作付面積（+2,800ha） ③県内産うるち米一等米比率（+7.8%） ④世代促進温室における供試点数（+96点） 	関連URL	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-osei/0000082498.html

事業概要【生涯活躍のまち推進施設整備事業】

拠点補正

申請者	愛知県小牧市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	21,881千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	本市の中心市街地である駅前に立地する商業ビル「ラピオ」のこまき多世代交流プラザ内に健康増進施設を整備する。このことにより、より充実したフレイル対策を展開し、健康で生きがいを持った高齢者が増加することにより、地域の中で役割を持った市民が増え、支え合いの地域づくりが充実する、市民の健康と支え合い活動の循環する社会の実現を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>市民の健康づくりに向けた“気づきの支援”・“きっかけづくり”の拠点となり、更には、社会課題の解決策を考える民間企業と市民をつなぐ、健康づくりに関する共創の拠点を目指す。デジタル技術を活用したフレイルチェックシステムやICチップを活用した食生活・栄養支援ツールを導入することで効率的・効果的に普及啓発ができる環境を構築する。</p> <p>①フレイルチェック、各種測定エリア：住友理工(株)フレイルチェックシステム、身体の状態測定、食生活・栄養支援ツール</p> <p>②情報発信エリア：健康関連書籍、健康情報発信機能</p> <p>③相談、交流エリア：運動（リハビリ）、栄養、口腔等の専門職による相談、市民同士、市民と企業、企業間の交流機能</p> <p>④フリースペース：介護予防教室、企業、大学等の出展ブース</p> <p>・健康増進施設整備費 他：15,031千円</p> <p>・備品購入費：9,124千円</p> <p>・光電話用配管工事費：301千円</p> <p>・食育SATシステム：4,451千円</p> <p>※フレイルチェックシステム導入に係る費用は本事業とは別に確保。</p>		 <p>「フレイルチェック測定会の様子」</p>
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域へのUIターン数（+600人）</p> <p>②地域住民の健康寿命（+0.25歳）</p> <p>③年間来場者数（+10,500人）</p> <p>④フレイルチェック測定会参加者数（+1,350人）</p>		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>

事業概要【道の駅 マチテラス日進によるまちのにぎわい創出拠点整備事業】

拠点補正

申請者	愛知県日進市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	1,283,700千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	<p>農業における担い手不足等の課題や、子育て支援に関する市民ニーズへの対応などに加え、将来、本市にも必ず訪れる人口減少と高齢化率の更なる上昇に対して、道の駅を整備することで、新規就農者の発掘、農地の保全等を図るとともに、出産・子育てに関する交流の場の提供、地域への愛着・誇りの醸成、市民間の交流や将来を見据えた関係人口・交流人口の拡大等を図り、地域振興を促進し、にぎわいのあるまちづくりを進めるもの</p>		
整備内容・利活用方策	<p>地域振興の促進、にぎわいの創出等を図るため、市内農業者等の農産物や開発した特産品を販売するとともに、幅広い飲食物の提供、子育て支援施設（屋内のプレイルーム）の整備等を行う。コミュニティバスの運行状況がリアルタイムで分かるバスロケーションシステムを導入し、より市民が気軽に訪れることができる場所とする。また、周遊アプリケーションで周辺の店舗やイベント情報を発信することにより回遊性を高める。</p> <p>・道の駅地域振興施設整備費：1,283,700千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①農林水産出荷額（+238,606千円） ②道の駅の売上額（+817,978千円） ③特産品等商品開発件数（+70件） ④子育て支援施設利用者数（+5,700組）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.nisshin.lg.jp/departments/sangyoseisaku/kikan/3/index.html</p>

事業概要【産官学民の多様な主体の参画による「共創のまちづくり」拠点整備事業】

拠点補正

申請者	愛知県北名古屋市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	期間中の総事業費	150,800千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	産官学民の多様な主体の参画による地域・社会課題の解決や魅力的なまちづくりを推進する共創のまちづくり拠点を整備し、北名古屋市の魅力で『新しい人の流れ・にぎわい』を生み出し、北名古屋市の安心な暮らしを守り住み続けられる『まち』をつくる。		
整備内容・利活用方策	<p>産官学民が連携し、新たなまちの魅力や地域の価値を共に創り上げるための「共創」の拠点として、北名古屋市市民活動センターを整備する。</p> <p>コワーキングスペース、ミーティングスペース、イベントスペースなどを設け、すべてのスペースにWi-Fiを整備し、コワーキングスペースでのテレワークやミーティングスペースでのZoomミーティング、イベントスペースでのデジタルデバイスの活用が実現可能な、デジタルシフトに対応した拠点施設を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点本体工事費（71,427千円） ・設備整備費（44,062千円） ・デジタル設備整備費（9,966千円） 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口・世帯数（▲150人） ②施設の利用者数（+28,000人） ③拠点で実施するメンバーシップ登録制度の企業・団体数（+25件） ④行政以外の主体によるまちづくり等事業数（+200件） 	関連URL	https://www.city.kitanagoya.lg.jp/machi/5400296/php

事業概要【弥富まちなか交流館市民活動拠点やとみっけベース整備事業】

拠点補正

申請者	愛知県弥富市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	35,174千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	市民活動拠点の整備によって、多様化する市民ニーズに対して行政の力を借りることなく、市民や地域のそれぞれの強みと弱みを補い合う（マッチングする）ことで、市民や地域の活躍機会を増進し、市民活動の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>弥富まちなか交流館2階を改修し、以下の3つの機能を持つ市民活動拠点やとみっけベースを整備する。また、本拠点にはWi-Fiを整備し、オンライン会議の開催やデジタル媒体を活用した団体PR活動等が実施できる環境を整える。</p> <p>①市民が何か困ったとき、何かを頑張ろうと思ったときに気軽に相談することができる相談窓口</p> <p>②活躍したい市民・団体・企業等の地域活動の活性化を図るために情報を一元管理し、活動のPRを行うコーナー</p> <p>③市民が気軽に交流・活躍する場としてのフリースペース及びマルチスペース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やとみっけベース整備工事費：32,716千円 ・やとみっけベース庁用器具設置費：2,458千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①地域の人口・世帯（▲705人）</p> <p>②やとみっけベースが仲介して、市民の相談事が解決に繋がった件数（+84件）</p> <p>③やとみっけベースの入館者数（+4,000人）</p>		<p>（交付金の具体的使途・実施体制） 令和6年6月公表予定 （効果検証） https://www.city.yatomi.lg.jp/shisei/1000749/1000763/1002378/1002379.html</p>

事業概要【のき山学校サテライトオフィス等整備事業】

拠点補正

申請者	愛知県東栄町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	135,510千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	東栄町体験交流館のき山学校の施設整備を行うことにより、リモートワークやサテライトオフィス等、従来の活用に加えた新たな事業展開が可能となり、利用者数の増加による経済活性と交流人口の増加、移住定住への動因に結び付くなど、賑わいを保ち続けるまちの実現に資する。		
整備内容・利活用方策	<p>東栄町体験交流館のき山学校（教室棟及び管理棟）について、デジタルを活用した生活を実践できる施設とするための関係機器等の整備及び耐震補強を行う。</p> <p>レンタルスペース（フリースクール）、テレワーク室、レンタルオフィス、会議室等として活用することで、リモートワークやサテライトオフィス等として利活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物工事：101,731千円 ・設備工事：31,245千円 ・備品整備：2,534千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+10,000千円） ②施設利用者数（+5,000人） ③レンタルオフィスの利用団体数（+10団体） ④イベント等による収入額（+7,500千円） 	関連URL	http://www.town.toei.aichi.jp

三重県

申請者	三重県いなべ市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	71,800千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>中心市街地の空き家をリノベーションし、6次化やレンタルキッチン等の機能を有する施設として整備し、地域資源を活用した新たな商品開発や販売を進めることにより地域の産業の振興を図る。</p> <p>また、当該施設整備とあわせて、コワーキングスペースや交流スペース等を確保し、起業・創業者や主人公の活躍の場の確保と市民や観光客などの交流を促進し、地域の賑わいを創出する。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>6次化やレンタルキッチン、コワーキングスペースや交流スペース等の主人公が活躍する多機能を有する拠点を整備し、持続可能な観光振興や産業振興の実現により、まちの賑わいの創出を目指す。</p> <p>また、SNSでのプロモーションやデジタルサイネージ、地域プロモーション映像により、売り上げの向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）阿下喜ビジターセンター整備費：56,500千円 ・サイクルステーション設備及び車中泊設備新設：15,300千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口・世帯数（+100） ②新規就農者数（+10人） ③起業・創業者数（+15人） ④拠点施設使用料収入（+1,400千円） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.inabe.mie.jp/shisei/keikaku/keikaku/1004053.html</p>

滋賀県

事業概要【JAこうか旧雲井支店を活用したまちづくり拠点整備事業】

拠点補正

申請者	滋賀県甲賀市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	29,744千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>まちづくり拠点を整備することにより、多世代が交流する事業を重ね合わせ、多様な主体が交流できる仕掛けづくりにより、地域住民が活躍し、繋がり、憩う拠点とする。市民活動団体間の活動に相乗効果を生み出し、地域資源のエンパワメントを高め、市民活動団体が自走できるための支援を実施することで地域内での経済循環を促し、地域内雇用・地域の持続力を高める。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>事務室を改修し、十分な広さをもった新たなコミュニティスペースを整備することにより、多世代活躍・交流及び情報発信の拠点として整備する。 また、史跡の観光案内や地域特産物販売等、雲井地域の魅力を発信する拠点としての機能を整備し、交流人口の拡大を図る。 ・改修工事費：29,744千円</p>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地域の人口・世帯数（+20人） ②年間施設利用者数（+900人） ③協働事業創出数（+5事業） ④市民活動団体・スタートアップ企業創出数（+5団体）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.koka.lg.jp/16565.htm</p>

京都府

事業概要【梅岩の里生誕地整備事業】

拠点補正

申請者	京都府亀岡市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	347,622千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	地域の核となる人が集う拠点施設が減少している東別院町において、交流拠点となる施設を整備し、地域の集会所や習い事の間としての利用を促し、地域の賑わいを創出します。		
整備内容・利活用方策	<p>地域コミュニティ組織の武道・室内スポーツなどの活動を行う講堂（道場）や料理教室などを行う里山工房、石田梅岩に関連する資料等の収蔵庫を整備。Wi-Fi環境を整え、コワーキングスペースを設けるとともに、定期的にPC・スマホ教室を開催し、デジタルデバイドの解消を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事費 252,129千円 ・電気設備工事費 44,875千円 ・機械設備工事費 50,618千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域人口の社会減の緩和（+19人） ②施設利用件数（+450件） ③コワーキングスペース利用件数（+250件） ④観光目的の来館者数（+400人） 	関連URL	https://www.city.kameoka.kyoto.jp/

大阪府

事業概要【デジタルを活用した五月山動物園ウォンバットゾーンの再整備事業】

拠点補正

申請者	大阪府池田市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	399,600千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本市における主要な観光施設の一つである「五月山動物園」のウォンバットゾーンの再整備を行い、ウォンバット獣舎の屋内展示化により、夏冬でも滞在しやすい環境づくりを行うとともに、老若男女問わず楽しめるようウォンバットゾーン内のユニバーサルデザイン化を行うことにより、「ひと」を呼び込み、まちの賑わい、市内の回遊性の向上に繋がるとともに、市内の観光消費額を増加させる仕掛けづくりを行う。		
整備内容・利活用方策	<p>五月山動物園のウォンバットゾーンにおいて、リニューアルにより生息環境を展示するとともに、希少動物であるウォンバットを中心としたグッズ販売、SNS等を活用した情報発信等を行い、来園者数の増加、市内における観光消費額の増加を図る。併せて、獣舎内に温度湿度センサーやAIカメラをはじめとする飼育環境のデジタル化を行い、ウォンバットを継続的・効率的に飼育ができる環境を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォンバットゾーン獣舎整備費：188,000千円 ・ウォンバットゾーン放飼場・園路整備費：168,300千円 ・デジタル関連施設整備工事費：15,000千円 ・展示コンテンツ実装費：28,300千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+9,500千円） ②動物園来園者数(市外)（+75,000人） ③ファン・サポーター数（+50人） ④動物園に30分以上滞在する人の割合（+5%） 	関連URL	https://satsukiyamazoo.com/

申請者	大阪府守口市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	386,074千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	東海道五十七次の宿場町「守口宿」の趣を残す貴重な歴史的資源である「文禄堤」における最大かつ最古の戸建て空家となっていた「旧徳永家住宅」を官民連携によって整備・活用することなどにより、市内新規起業・出店ニーズに対応しつつ、地価の上昇等によるエリア価値の向上とともに、本市の魅力・賑わいを創出し、それによる子育て世帯をはじめとする若い世代等の定住促進を目指す。		
整備内容・利活用方策	「旧徳永家住宅」を公民連携により、市と活用事業者がそれぞれ役割を分担し、改修のうえ、市民等が日常的に訪れることができ、文禄堤の歴史性を尊重しながら、まちの誇り・自慢となるような、シビックプライドとコミュニティを育てる場として整備する。 ・主屋(1階:レストラン、2階:事務所)整備費 194,070千円 ・蔵(ブリュワリー/パブ、サウナ)整備費 96,872千円 ・ガレージショップ整備費 53,792千円 ・駐輪場・駐車場/貸農園整備費 41,340千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（▲5,023人） ②施設の関連事業者数（+33者） ③近傍路線価（15,000円/m ² ） ④施設利用者数（+18,300人）	関連URL	https://www.city.moriguchi.osaka.jp/kakukanoannai/toshiseibibu/toshikeikakuka/MARS/14076.html

奈良県

事業概要【奈良市創業支援施設「BONCHI」機能強化整備】

拠点補正

申請者	奈良県奈良市	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	34,400千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	市の創業支援の拠点にシェアオフィスを増置することにより、施設内での事業成長を促す機会を設け、今まで以上に多様な人材が集う場になることで、創業機運醸成や、創業支援事業の実施の幅を広げるだけでなく、「はたらくまち」としての奈良を発信し、市内の産業を持続・発展させていく。		
整備内容・利活用方策	<p>奈良市創業支援施設「BONCHI」において、3階を改修しシェアオフィスを増置する。BONCHIの機能強化を図ることで、コワーキング会員等の更なる事業成長や県外企業を呼び込み雇用を創出することができる環境を整備する。具体的には、IT企業の入居を想定しており、BONCHIを拠点に市内の様々な分野と連携し、デジタル技術を活かした社会課題解決や市内企業の新たな事業展開に寄与するものとする。また、オンライン予約システム及びセキュリティロック解除機能を導入し、予約状況や入居企業の利用情報を分析し、利用者のニーズを考慮した事業を展開するとともに利便性の向上と運営の効率化を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容</p> <p>【建築物本体工事：27,300千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事費 23,200千円 ・設計費 4,100千円 <p>【建築物と不可分な設備工事：4,100千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気設備工事費 4,100千円 <p>【効果促進事業：3,000千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入 3,000千円 		
KPI	<p>①地域における新規雇用者数（+2,000人）</p> <p>②BONCHI入居企業に係る法人市民税増加額（+27,840千円）</p> <p>③創業支援拠点施設における法人登記数（+15件）</p> <p>④シェアオフィス新規入居数（+14件）</p>	関連URL	<p>（効果検証奈良市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会）</p> <p>https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/4/10863.html</p>

※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【（仮）子育て支援等複合施設整備事業】

拠点補正

申請者	奈良県奈良市	採択回	令和6年度第2回募集	
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	119,621千円	
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野	
目的（効果）	まちのシンボルとなる複合的な機能を有する子育て支援拠点を創設することにより、地域の子育てサービスの充実だけでなく、女性の就業に対する取組も支援し、新しいことに取り組む機運を高めることで、交流人口拡大や定住人口拡大による本市の地域創生の実現を目指す。			
整備内容・利活用方策	大型商業施設に未就学児及びその保護者が利用できる子ども遊び場機能・地域子育て支援拠点機能・コワーキング機能を有する複合施設を整備し、地域の子育て支援の強化に繋げる。オンライン予約システムを導入することにより、利用者は24時間いつでも予約申請及び予約枠の残数を確認ができ、運営側は利用人数等を事前に把握することで安全対策等のオペレーションの効率化を図ることができる。さらに、個人情報以外の情報を分析することにより、曜日や時間帯に応じた適切な子育てサービスを提供する。また、子育て中の女性を対象に企業の即戦力となるDXスキルを習得するセミナーを開催し、DX人材の育成を図る。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】内部改修工事 59,287千円 【建築物と不可分な設備工事】電気設備工事費 35,090千円、給排水設備工事 1,320千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 【遊具等設置工事】76,000千円（うち交付対象事業経費23,924千円）			
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+250世帯） ②（仮）子育て支援等複合施設の利用者数（+50,000人） ③創業相談・創業セミナー参加者数（+60人） ④同一商業施設内の買い物客の増加数（+5,555組）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制）調整中（効果検証） https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/4/10863.html	

事業概要【まちなかの賑わい拠点整備事業】

拠点補正

申請者	川西町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	128,634千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	川西町の中心地である結崎駅前において、駅前を人々の「目的地」とするべく製造許可付きシェアキッチンを中心とした飲食を提供できる拠点整備を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>駅前広場と一体的に利用することで様々なイベントシーンにも対応できる機能を有し、本地域でのイベント開催を活性化させる機能を有します。さらに、シェアキッチンと一体的に大屋根に覆われたウッドデッキを配した広場の整備を予定しており、日常使いにおいても天候等を気にすることなく子どもと一緒に過ごせる空間が出来上がり、駅前が子育て世帯を中心とした町域内外の人で賑わう場所となり、人を中心としたまちづくりの拠点としての役割を担います。施設の利用に際しては、施設予約システムとスマートロックの連携で、管理人不在の施設でのカギ管理の手間をなくすことや利用後の支払いに関してもキャッシュレス決済を可能とし、利用者の利便性向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）結崎駅併設施設整備工事 112,409千円 ・（仮称）結崎駅併設施設 外構工事 16,225千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ① 拠点周辺の地域における人口（+48人） ② 拠点施設を中心とした関係人口（+72人） ③ 拠点を軸とした住民等が主体のイベントの開催数（+34件） ④ 拠点をきっかけとした町内での実店舗の出店件数（+3件） 	関連URL	https://www.town.nara-kawanishi.lg.jp/

事業概要【ローラースケートパーク整備事業】

拠点補正

※PFI活用

申請者	奈良県川西町	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	101,526千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>国が治水対策として設置する遊水池を町がローラースケートパークとして整備する。日本初の国際規格に準拠するオーバルトラックを設けることで、インラインスピードスケートの正式な大会を開催するとともに、町内に不足している子どもが安全に遊べる大規模な公園として活用することで、広域からの若年層の集客や町民の健康増進を図り、転入・定住を促進する。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>日本初となる国際基準に準拠したオーバルトラックを整備することで、インラインスピードスケートの国際大会の開催が可能な施設とする。また、関係団体等と連携し、大会の映像をライブ配信することによって、日本のスポーツ振興及び本町のPRにつなげる。</p> <p>一般の利用者に向けては、オンライン予約システムを導入することで、利用者の利便性向上や施設運営側の業務の省力化を図る。また、施設予約時の利用者登録を起点に、利用後にオンラインアンケートを実施することで、利用方法や施設運営の改善に活かす。</p> <p>○用地造成・設備整備の内容 【建築物本体工事】 3,135千円 【用地造成工事】 77,986千円 【設備整備工事】 20,405千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の人口（+12人） ②施設の利用者数（+37,500人） ③施設でのイベント回数（+60回）</p>		<p>関連URL https://www.town.nara-kawanishi.lg.jp/</p>

和歌山県

事業概要【道の駅根来さくらの里にぎわい創出計画事業】

拠点補正

申請者	和歌山県岩出市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	104,876千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	府県間道路にある直売所機能をもつ道の駅に人が集うために施設を整備することで地元農家や商工会などの関係者が活躍できる場を作り、地元農産物の売上増加による産業活性化と市の観光PRの強化による交流人口の増加を取り組み、市を活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>地元農家に収益のある場として魅力ある道の駅に改修し、人が集う場所としてにぎわいスペースを確保する屋根を設置するとともに、製品の魅力を伝えるため、店舗内外の陳列棚等を整備する。</p> <p>また、店舗にキャッシュレス決済を導入し、今まで見えてこなかった顧客情報を活用して、季節やターゲットに応じた販売戦略を行う。</p> <p>併せて、多くの旅行者が休憩時に市内の観光情報を取得できるようにWi-Fi環境整備、魅力ある観光資源等の映像を流す大型モニターの設置などを行う。</p> <p>主な工事費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅売店改修・屋根設置等工事：89,173千円 ・店舗工事、キャッシュレス工事等費：15,703千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①岩出市における農林水産出荷額(+10,000千円) ②道の駅根来さくらの里の年間売上(+5,424千円) ③道の駅根来さくらの里の年間来場者数(+10,123人) ④市内観光入込客数(+500,000人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.iwade.lg.jp/koushitsu/so_gosenryaku.html</p>

島根県

事業概要【島根県物産観光館改修事業】

拠点補正

申請者	島根県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	558,910千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・県内唯一の百貨店閉店に伴い、幅広い島根県産品の魅力に触れられる場としての機能を大幅に強化 ・県産品のインスタ調理や職人による伝統工芸品の製作体験を通じた県産品の販路拡大を図る ・県内事業者の商品開発・改良を伴走支援し、県産品のさらなる魅力向上・競争力強化を図る 		
整備内容・利活用方策	<ul style="list-style-type: none"> ○県内唯一の百貨店閉店に伴い、島根県産品を一堂に展示・あっせんする「島根県物産観光館」に県産食材等のイートイン機能を整備するとともに、デジタルサイネージを用いて県産品の魅力を幅広く発信する機能を大幅に強化 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 548,870千円 ○POSレジデータの販売状況を東京のアンテナショップとオンラインで共有し、消費者動向を踏まえたデジタルマーケティングにより県内事業者の商品開発を伴走支援 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン共有システム開発・導入経費 10,040千円 	 <p>島根県物産観光館</p>	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における農林水産出荷額（+5,636千円） ※野菜、果物、花き、米、精肉、牛乳・卵、茸類の取扱高 ②島根県物産観光館における県産品取扱高 （+58,302千円） ③島根県物産観光館入館者数（+36,451人） ④食品産業アドバイザーによる新商品開発支援数 （+33件） 	関連URL	島根県物産観光館 https://www.shimane-bussan.or.jp/sb/

岡山県

事業概要【早島駅周辺地域再生拠点化事業】

拠点補正

申請者	岡山県早島町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R7年度（基金事業）	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	1,334,586千円 （586,875千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>人々の交流を促進し、まちなぎわいを向上させる場所・空間として非常に重要なエリアである早島駅及びその周辺において、交流拠点施設を整備し地域のコミュニティ形成を更に加速させること、公共交通機能の利便性向上を図り住みやすいまちづくりを行うこと、拠点施設で様々な事業や魅力を発信するイベントが開催されることを通して魅力ある町としての認知度を更に高める好循環を生み出すことなど、将来に向けて持続可能なまちづくりを行う。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>(1)屋内交流スペースや公園・広場を整備し、コミュニケーション・にぎわいの場を創出する。 (2)屋外交流スペース、情報発信スペース、展望スペースを整備し、町の魅力発信・良質な景観形成を行う。 (3)駅舎にバリアフリー設備や自由通路を整備し、障がい者や高齢者の人も快適に使える環境整備や利便性向上を行う。 (4)施設に無線LAN環境を構築し、デジタルを活用した新たな価値を提供する。また、施設の予約から施錠までWeb上で完結する仕組みを構築し、施設利用者の利便性向上を図る。</p> <p>【事業費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早島駅舎等整備工事 1,024,620千円 ・駅前広場、駐車場等整備工事 309,966千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の人口・世帯数（+541人） ②屋内交流スペース利用件数（+1,530人） ③1日あたりの早島駅乗降客数（+408人） ④早島町定住・移住関係の相談件数（+74件）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.hayashima.lg.jp/index.html</p>

事業概要【ヒメノモチ第3加工場整備事業】

拠点補正

申請者	岡山県新庄村	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	399,509千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野（詳細）	農林水産分野
目的（効果）	<p>本村の特産品であるヒメノモチやその他の農産物による農業出荷額を向上させることで、農家の収益安定化やそれに伴う農業の魅力や価値の向上、さらには、村内での働く場の確保を実現し、最終的に農業振興による人口減少の抑制を目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>ヒメノモチの加工を行う新たな加工場を整備する。</p> <p>【整備施設】 施設名称：ヒメノモチ第3加工場 主な機能：精米、洗米、餅加工、包装、保冷・保管</p> <p>【利活用方策】 ・道の駅が主体となり、本村の共同乾燥施設で乾燥調製された玄米を買い入れ、大福以外のヒメノモチの加工品を製造する。また、無線LAN環境を整備することで加工状況の遠隔モニタリングを可能にする。</p> <p>【事業費】 ・ヒメノモチ第3加工場整備費 306,482千円 ・加工設備（保冷库等）整備費 93,027千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①農林水産出荷額（+59百万円） ②村内農家のヒメノモチ販売に係る収入（+12百万円） ③ヒメノモチの加工量（+800俵） ④新規就労者数（+3人）</p>	関連URL	<p>http://www.vill.shinjo.okayama.jp/index.php?id=140</p>

事業概要【健康の町「かがみの」アウトドアアクティビティ拠点づくり事業】

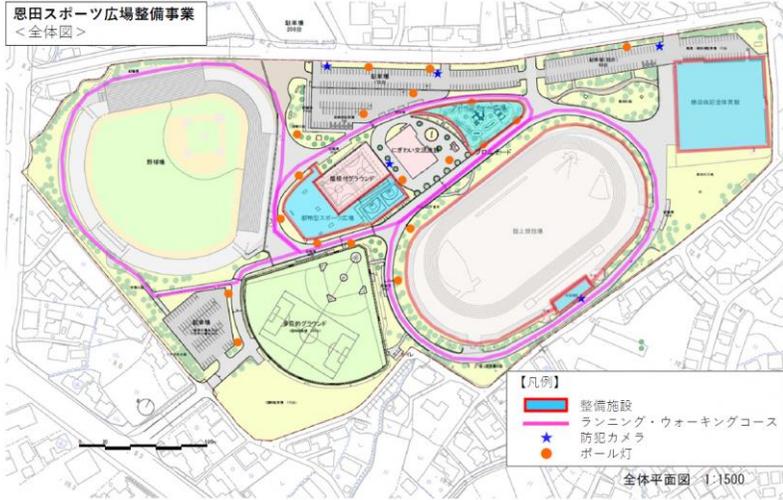
拠点補正

申請者	岡山県鏡野町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	398,564千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	<p>本町の自然資源を最大限に活用し、観光をきっかけとする新たな経済循環の仕組みの構築を図るため、アウトドア企業の知見を取り入れながら、現在観光物産施設として利用している奥津湖総合案内所「みずの郷奥津湖」（特産品販売、飲食の提供）を、観光振興の拠点施設としてのビジターセンターへと改修するほか、新たにアウトドア関連物販施設の整備を行う。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>【整備内容・利活用方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鏡野町の奥津湖に、観光案内や飲食提供などが可能な多機能型のビジターセンター及びアウトドア商品などを取扱う物販施設を一体的に整備する。 ・本町の観光に関するあらゆるサービスをワンストップで提供できる体制を確立する。また、電子決済の導入やオンライン会員証との連携により利用者の利便性向上を図る。さらに、湖畔カメラを設置し、リアルタイムかつ効果的なPRを行う。 <p>【事業費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジターセンター改修費 65,165千円 ・物販施設整備費 315,700千円 ・艇庫等整備費17,699千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+275百万円） ②奥津湖VC来場者数（+61千人） ③奥津湖VC売上高（+73,290千円） ④奥津湖VCを起点又は中継点とする体験メニューの実施回数（+687回） <p>※VC…ビジターセンター</p>		<p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証）</p> <p>関連URL https://www.town.kagamino.lg.jp/soshiki/2/1985.html</p>

山口県

事業概要【賑わい交流拠点「恩田スポーツパーク」整備事業】

拠点補正

申請者	山口県宇部市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	333,028千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>プロ・トップスポーツに対応した施設整備をはじめ、若者に人気の高いアーバンスポーツ広場など新たな魅力を加えたにぎわい交流拠点「恩田スポーツパーク」を整備することで、若い世代を中心に幅広い市民が趣味や余暇、健康増進等を目的に集い、域内外の人との交流・つながりを広げる交流拠点となるとともに、地域の魅力向上へつながり、選ばれるまちとなることを目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>宇部市に本拠地を置くプロ・スポーツチームの公式戦に対応したコートやアーバンスポーツ施設等の新たな要素を付与するとともに、パーク内にリアルタイム配信が可能なガイドカメラを設置し、混雑状況の確認やイベントのYouTube配信などを行うことで、若い世代を中心に市内外から幅広い世代が集い、交流することができる賑わい創出拠点とし、地域の魅力向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 俵田翁記念体育館整備工事 114,395千円 ○ 都市型スポーツ広場整備工事 68,900千円 ○ アドベンチャー広場整備工事 23,700千円 ○ パーク内環境整備工事 126,033千円 		 <p>恩田スポーツ広場整備事業 <全体図></p> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 整備施設 ■ ランニング・ウォーキングコース ★ 防犯カメラ ● ボール灯 <p>全体平面図 1:1500</p>
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口・世帯数（+50人） ②スポーツツーリズムを通じた交流人口数（+5,000人） ③大会誘致数（+10件） 		<p>関連URL</p> <p>宇部市公式ウェブサイト https://city.ube.yamaguchi.jp</p>

事業概要【道の駅「仁保の郷」の機能強化による地域経済活性化プロジェクト】

拠点補正

申請者	山口県山口市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	399,960千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	道の駅「仁保の郷」の増築・改築、休憩機能の強化を行うことで、来場者の更なる増加、農産物直売所における地元農産物の販売促進につなげ、仁保地域における生産者や事業者の所得向上や、基幹産業である農業の担い手確保、地域における新たな雇用の創出等により地域経済の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>道の駅「仁保の郷」の農産物直売所やレストランの増改築、倉庫の新設などによる施設の機能強化を図ることで、地元農産物の販売強化や多様なニーズに対応した幅広い世代への誘客促進、イベント開催による賑わい創出と併せて、仁保地域内の農業関係者・企業等と連携した経済波及効果の創出につなげる。また、直売所にAI照明及びAIカメラを導入することで、適切な照明による光熱費の削減のほか、商品の販売状況が生産者のスマホ等で確認可能となるなど、生産者の利便性向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農産物直売所・レストラン増改築、倉庫新設 ほか 390,616千円 ○多目的デッキ改修 9,344千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における農林水産出荷額（+67,964千円） ②道の駅「仁保の郷」の来場者数（+46,718人） ③道の駅「仁保の郷」の農林水産出荷者数（+60事業者） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/14/151510.html</p>

愛媛県

事業概要【西予市地域づくり活動センター整備事業（周木地区）】

拠点補正

申請者	愛媛県西予市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	214,911千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>少子高齢化などの影響により一律的な行政サービスの推進に限界がきている現状において、「地域づくり活動センター」を整備することで地域づくり活動をさらに活性化させ、地域コミュニティが主体性をもって地域の特性を活かした地域サービスの創出に取り組む仕組みづくりを構築し、住民と行政による協働のまちづくりを図る。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>地域づくり活動センターにおいて、地域コミュニティが主体性をもった課題解決型の地域活動や、地域資源を活用した特産品等の検討を行うとともに、自立性の高いコミュニティビジネスが展開され持続可能な住民自治が形成されることで、住民と行政との協働のまちづくりを図る。</p> <p>また、高齢者向けに、スマホ教室の開催、スマホによる安否確認や配食サービスの提供などデジタル化を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり活動センター改修整備費：160,667千円 ・業務委託：7,966千円 ・外構設備整備費：41,174千円 ・備品整備費：5,104千円 		 <p>旧周木小学校を活用</p>
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口・世帯数（+9人） ②周木地域づくり活動センター施設利用者数（+1,550人） ③地域づくり活動等に関わった関係人口の数（+90人） ④配食サービスによる売上高（+1,870千円） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.seiyo.ehime.jp/kakuka/seisaku_kikaku/seisakusuishin/tihousousei/503.html</p>

事業概要【松山南高等学校砥部分校魅力化支援事業を核とした交流拠点整備事業】

拠点補正

申請者	愛媛県砥部町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	225,262千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	砥部分校生と地域住民、民間企業など様々なステークホルダーが交流できる施設を整備することで、地域全体で町の未来を創る人材を育成し、魅力化を図っていくことにより、地域内外からの人材の還流を引き起こし、関係人口の拡大や砥部分校生を中心とした新たな就業機会の創出、将来の移住定住促進につなげる。		
整備内容・利活用方策	<p>砥部分校教育寮（仮称）の整備（総事業費：822,448千円）</p> <p>【施設概要】</p> <p>砥部分校教育寮（仮称）は、宿舍棟と共用棟（多目的共用施設）の2棟建てとし、共用棟を交付対象事業とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備費：207,210千円 ・備品購入費：16,204千円 ・教育カリキュラム作成費：1,848千円 <p>【利活用方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流 ・地場産業である砥部焼窯元との交流 ・新設する砥部分校ゲームクリエイションコースの生徒とIT企業（デザイナーやプログラマー等）との交流拠点として、デザイン・プログラミング教室の開催等を通じたデジタル人材の育成を図る など 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地方へのU I Jターン数（+75人） ②松山南高校砥部分校入学者数（+200人） ③松山南高校砥部分校教育寮入寮者数（+75人） ④移住者数（20代～30代）（+60人） 	関連URL	https://www.town.tobe.ehime.jp/soshiki/2/koukakenshou.html

高知県

申請者	高知県の町	採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	139,355千円	
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野	
目的（効果）	仁淀川流域の観光拠点施設である「土佐和紙工芸村くらうど」の機能強化・魅力向上のための整備を行い、土佐和紙の歴史や文化に触れ、仁淀川の良さを感じる空間を作ることによって滞在時間を延ばし、利用者と消費額の増加を図る。地元製品の販売の機会を増やし、地域の農業振興に寄与するとともに、町外から訪れた方と町内の事業者・生産者等とが交わることで、様々な世代が集うにぎわいある地域づくりを目指す。			
整備内容・利活用方策	仁淀川流域及び石鎚山系へ訪れる観光客（インバウンド客含む）が必ず立ち寄る観光拠点施設として、機能と魅力を向上させ、消費額の増加を図る。 ワークーション等にも活用できる施設として整備し、ワークーションで訪れた企業と地域住民による地域課題に対する意見交換を促進する。 ① 客室のリニューアル ② 浴室棟2Fホール（休憩スペース）内装改修 ③ ボイラー設備改修、浴室内装改修 ④ バンケットルーム、レストラン離れ改修 ⑤ 屋外サインの見直し 建築物本体工事 67,705千円 電気設備工事 21,016千円 機械設備工事 46,651千円 監理委託 3,983千円 うち、ワークーション対応工事 28,279千円			
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+152,020千円） ②町内インバウンド客宿泊者数（+632人） ③町内体験型プログラム数（+25件） ④ワークーション利用件数（+108件）		関連URL	https://www.town.ino.kochi.jp

事業概要【大方高校魅力化の取組を核とした交流施設整備事業】

拠点補正

申請者	高知県黒潮町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	398,849千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	人材育成と地域の活性化を目指し、町内外から選ばれる魅力ある大方高校を目指す目的から、地域外の転入者などが利用を可能とする施設を整備して地域を担う多様な人材を確保する。本施設が交流施設となることで、高校生の活動に対する地域住民の支援や貢献の輪が広がりを見せるとともに、交流により生徒にとってもやりがいや将来を考えるきっかけにつながるなど人材育成にも寄与し、同校の魅力化を軸に地域の活性化にもつなげていく。		
整備内容・利活用方策	<p>新たな交流拠点として活用し、地域外からの移住者等が滞在し共有空間において多様な年代の方々とコミュニケーションを図ることができる施設を整備する。また、学生向けには、公設塾を本施設で実施することで、町内高校生との交流の機会が創出されるとともに、町内企業などとの学習会を設けることで学校以外での社会勉強やコミュニケーション能力の向上が図られ、多様な人との交流によりやりがいや将来を考えるきっかけにつながり、地域に残る、または帰ってくる人材の創出といった地域の教育力向上及び地域活性化に繋がる施設を整備する。インターネット環境を整備することで、SNSを活用したイベントの発信等による学校のPR活動や、公設塾でのオンライン授業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延床面積：998㎡ ・構造形式：RC造、3階建 ・多目的室：2部屋 ・部屋数：18部屋（36人） <p>建築物本体工事 387,849千円 進入路外構工事 11,000千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数（+5組） ②大方高校へ新たに進学する生徒数（+9人） ③地域外から入学者数（+21人） ④高校卒業後の定着率（+4.1%） 		関連URL https://www.town.kuroshio.lg.jp/

福岡県

事業概要【将来の気候変動を見据えた画期的な水田作物の品種開発のための研究拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	福岡県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	350,876千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	気候変動による高温や日照不足（寡日照）などの条件下でも、高品質で安定収量を得ることが可能な水稲、麦類の品種開発を加速化させるため、福岡県農林業総合試験場内に、高温、寡日照、多湿環境を高精度に再現できる施設や育苗施設、品質・収量評価施設を整備する。		
整備内容・利活用方策	<p>本事業により整備された施設を活用して、将来の気候変動を見据えた画期的な新品種を開発し、普及することで、生産者の所得向上と地域の活性化を図る。</p> <p>育苗施設には各種IoTセンサーを整備し、水温、気温、湿度等の施設内環境に応じて、自動でかん水スケジュールを制御することで育苗効率を向上させるとともに、寡日照評価施設や高温耐性評価施設にはマルチスペクトルカメラを整備、いもち病評価施設には病徴判別が可能なカメラシステムを導入し、効率的な選抜システムを確立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交配・育苗施設整備費：70,828千円 ・遺伝子解析機器導入費：3,912千円 ・栽培評価施設整備費：101,903千円 ・品質・収量分析施設整備費：174,233千円 	 <p>施設概要図は、研究拠点施設のレイアウトを示しています。主要な施設として、栽培評価施設（寡日照評価施設）、交配施設（育苗施設）、品質・収量分析施設、交配施設（交配母本養成施設）、遺伝子解析機器、栽培評価施設（高温耐性評価施設）、栽培評価施設（いもち病評価施設）が示されています。各施設には、その機能と導入される技術に関する説明が記載されています。</p>	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①米及び麦の農業産出額（▲44.8億円） ②施設を活用して開発した米及び麦の品種数（+2品種） ③大規模経営体数（10ha以上）（+80経営体） 	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/</p>

申請者	福岡県那珂川市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	190,632千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	文化芸術の様々な価値を活用した事業展開を行い、「多様な人たちの交流の場・居場所づくり」を目指す。		
整備内容・ 利活用方策	<ul style="list-style-type: none"> ・利用サークルなどによる実演展示販売や市民団体の作品展示などの実施やe-スポーツ事業等、文化芸術事業を通じた子どもから中高年齢者、障がいのある人も含めた交流の場・居場所づくりを進めるための施設活用の幅を広げるための整備 屋外デッキ新設等施設整備：176,704千円 ・インターネット（Wi-Fi）を活用した入退館システム導入による施設のセキュリティ向上等デジタル技術の活用 Wi-Fi機器設置：1,670千円 ・施設外からも施設の活動を見せるための整備 屋外スペースの整備：12,258千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数（+50人） ②地域の休日滞在人口率（+0.03ポイント） ③サークル等市民主体の文化芸術活動のための施設利用件数（+10件） ④施設利用者数（生涯学習センター）（+19,737人） 	関連URL	第2期那珂川市まち・ひと・しごと創生-人口ビジョン・総合戦略を策定しました-那珂川市ホームページ (nakagawa.lg.jp)

事業概要【デジタル技術を活用した平和の拠点づくり等整備事業】

拠点補正

申請者	福岡県筑前町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	233,040千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	<p>本町では、「食」と「平和」の情報発信を中心に、地域の特性や資源を十分に活かした滞在型の観光振興、移住人口・交流人口の増加に取り組んでいる。しかし、平和の情報発信拠点施設である町立大刀洗平和記念館には年間8万人以上が訪れている一方、町内各所にある大刀洗飛行場関連の戦跡を活用できていない現状にある。このため、新たな観光・交流資源を創出する目的で、希少な戦跡である掩体壕を平和の拠点施設として整備する。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>この掩体壕は当時「飛行機の格納庫」であったが、飛行機が2機格納できる大きさのものが残存しているのは全国的にも珍しい。来訪者が安全に施設を利用できるように補強工事を実施する。併せて、来訪者が当該施設に来れるように、駐車場、トイレ等の周辺環境の整備を行う。また、最新のAR(拡張現実)技術を用いて、飛行機が実際に格納されている様子など戦時中の情景を再現し、より鮮明な体験型の学びを実現する。</p> <p>・平和の拠点づくり等整備工事 215,044千円 ・ARコンテンツ制作及びタブレット購入費等 17,996千円</p>		
KPI	<p>①観光消費額（+44,403.3千円） ②掩体壕見学者数（+14人） ③大刀洗平和記念館来館者数（+7千人） ④大刀洗平和記念館売上金額（+9,100千円）</p> <p>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	<p>https://www.town.chikuzen.fukuoka.jp/li/050/010/020/index.html</p>



掩体壕(上)
戦時中に建設された飛行機物資、装備、あるいは人などを敵の攻撃から守るための施設。



(下)完成イメージ図

佐賀県

申請者	佐賀県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	964,700千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	日本最大級の弥生時代の集落遺跡を有する吉野ヶ里歴史公園において、日本を代表するアウトドアメーカーである株式会社スノーピークとの官民連携事業により、歴史と自然と人をつなぐ交流拠点施設や、民間投資による宿泊施設等を整備し、弥生時代の歴史を見るだけでなく実際に体感しキャンプができる唯一無二の公園として公園の価値を高め、人や物の交流を拡大させ、新しい人の流れをつくる。		
整備内容・利活用方策	<p>交流拠点施設を官民連携により整備し、公園内の周遊、地元と連携した農林水産物や製品の活用・販売、地元観光施設等への周遊の促進、さらには、デジタル技術を活用したリモートワーク環境やスマートチェックインゲートの整備により、公園の価値を向上させ、交流人口を増加させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流拠点施設の整備 902,000千円 ・うちリモートワーク等環境整備 540千円 ・電動カート導入、倉庫等整備 22,700千円 ・スマートチェックインゲート設置 40,000千円 	<p>交流拠点施設イメージパース</p> 	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①神埼・吉野ヶ里エリアの観光消費額（+2.18億円） ②吉野ヶ里歴史公園の入園者数（+27.7万人） ③宿泊施設やキャンプフィールドの宿泊者数（+4.44万人） ④交流拠点施設におけるイベント開催回数（+12回） 		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中</p> <p>（効果検証）</p> <p>https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003100298/index.html</p>

長崎県

事業概要【長崎県遠隔教育センター（仮称）施設整備事業】

拠点補正

申請者	長崎県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	68,085千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	人口減少が急速に進む本県において、豊かな自然と歴史等に恵まれた離島地域への人の流れの創出と地域活性化は地方創生の重要な柱である。本事業では、デジタル技術を活用した遠隔授業等の配信を通して離島の教育環境を改善するとともに、地域内外の人材と密接につながる取組を通して地域を支える人材の育成や地域の魅力の効果的な発信を行い、人口流出の抑制や将来的なUターン人口や移住者数等の増加につなげる。		
整備内容・利活用方策	<p>離島地域等に遠隔授業等を配信するための拠点を整備することで充実した教育環境を整備し、地方創生等に関わる各分野の専門家や企業関係者等とオンラインでもつながり関係人口や交流人口を増やすことで地域の魅力を発信し、人口流出の抑制とUターン人口の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設本体工事費：56,215千円 ・拠点施設整備工事費：2,080千円 ・拠点施設備品等整備費：9,131千円 ・配信準備事業費（謝金・広報費等）：659千円 		
KPI	<p>①地域へのUターン数（+250人）</p> <p>②離島地域の地元進学率（+4.7%）</p> <p>③遠隔教育センターの事業における大学・企業等の関係者数（+25人）</p> <p>④遠隔教育センターの取組への参加校数（+15校）</p>	<p>目指す将来像</p> <p>遠隔教育の推進による離島地域等への人の流れの創出と地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人口流出抑制 ○ Uターン人口の増加 ○ 移住者等の増加 <p>デジタル技術活用 オンライン交流</p> <p>地域 大学 企業</p> <p>遠隔教育センター</p> <p>離島地域等の小規模校における、遠隔授業等の配信による教育環境の充実</p>	<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/sousei/</p>
※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【新上五島町子ども未来交流センター整備事業】

拠点補正

申請者	長崎県新上五島町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	508,769千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	令和4年度末に閉校となった旧今里小学校の校舎及び体育館を活用し、主に小学生及び乳幼児を対象とした大型遊具の設置を始め、創作体験エリア、教育スペース・ワーキングエリア等を設け、子育て世代を中心とした交流拠点として整備することで、離島である本町における子育て世代のニーズを他の自治体に頼ることなく提供でき、子育て支援の満足度を高めることで、若年層の流出抑制及び本土からの流入促進を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>校舎及び体育館に大小様々な遊具を設置し、また、利用者の利便性向上のため、トイレ改修、バリアフリー化、こどもを見守りながら仕事ができる場所となるようWi-Fi環境整備によるコワーキングスペースの設置、テレプレゼンスシステムの導入することによる遠隔アクティブラーニング授業などの教育環境の整備、駐車場の整備など、屋内型の遊び場を中心とした交流拠点として整備することで、子育て支援の満足度向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築関連工事 239,769千円 ・遊具設置工事 200,000千円 ・外構工事 60,000千円 ・デジタル化関連整備費 5,000千円 ・その他備品・消耗品等 4,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数（+91人） ②20・30代の人口流出抑制（+35人） ③子育て支援満足度（+5.7%） ④整備施設の年間利用者数（+10,000人） 		<p>関連URL</p> <p>新上五島町 公式サイト https://official.shinkamigoto.net/</p>

熊本県

事業概要【『郷ごころ』を育てる“あそび”を軸にした多世代交流拠点整備事業】

拠点補正

申請者	熊本県南関町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	376,790千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	町中心部にある旧温泉施設「南の関うから館」を多世代交流拠点として改修し、まちづくり活動や交流イベント、地域・文化活動を開催し、情報発信を行うことで町の魅力とシビックプライドを高め、定住・経済・観光の好循環を生み出すことを図る。		
整備内容・利活用方策	<p>南の関うから館は4つの機能「日常的なコミュニティが醸成される賑やかな芝生広場機能、地域・文化活動が行われるホールや研修室機能、旧庁舎敷地にある図書館をうから館大浴場として利用していた部分へ移設した図書館機能、憩いの場となる飲食機能」を備えた多世代交流拠点として整備し、まちづくり活動や誰もが参加できる様々な交流イベント、地域・文化活動の開催・情報発信を行う基地として整備する。</p> <p>オンライン会議用機器の整備を行い、デジタル教室やスマホ教室を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設改修工事費：339,289千円 ・外構工事費等：25,082千円 ・ブランディング/webサイト構築費：6,084千円 ・家具及び備品整備費：6,335千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口・世帯数（本町の社会増減数）（+40人） ②年間来場者数（+37,000人） ③観光入込客数（+180,000人） ④交流・まちづくりイベント開催数（+12回） 	関連URL	https://www.town.nankan.lg.jp

事業概要【多世代ごちゃませ、こどもまんなかプロジェクト推進拠点整備事業】

拠点補正

申請者	熊本県長洲町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	221,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	天候に左右されることなく子どもたちが思いっきり遊ぶことのできる施設や、地域の多世代が交流できる場の整備等を通して、「まちの賑わい」の創出、さらには町外からの「人の流れ」へとつながることでの定住・移住施策を推進する。		
整備内容・利活用方策	<p>「長洲町地域福祉センター」の施設改修により、子育て支援・多世代交流を促進するとともに、IoT機器等のデジタル技術活用により、施設の魅力向上及び集客数の増加を図る。</p> <p>また、当該施設の近隣に点在する小学校や子育て世帯のための地域優良賃貸住宅、フットサルコート、「認定こども園」等の各施設との相乗効果による周辺エリアの魅力向上等による移住・定住の推進を図る。</p> <p>施設内にWI-FIを整備し、スマホ教室やオンライン教室を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設改修工事費：177,000千円 ・屋内遊具整備費等：34,000千円 ・IoT機器設置費等：10,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①UIターン数（+34人） ②町施策を利用して移住した子育て世帯数（+9世帯） ③子育て支援に対して満足していると答えた人の割合（+70%） ④施設の利用者数（+20,000人） 	関連URL	調整中

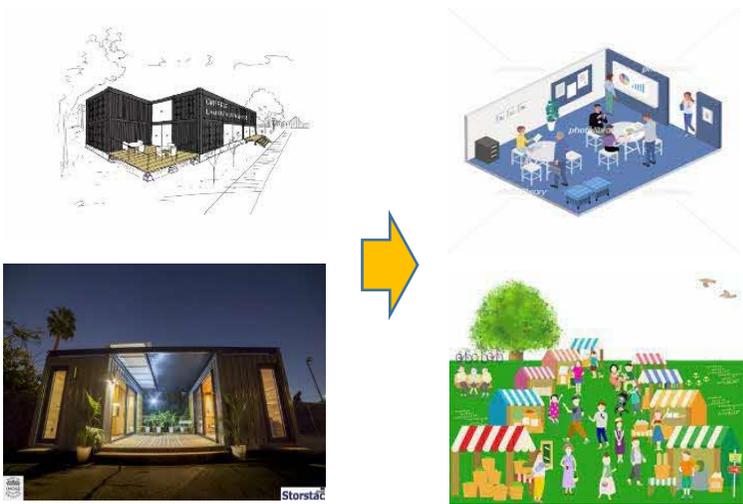
事業概要【阿蘇立野ダム仮設備ヤード拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	熊本県南阿蘇村	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	306,572千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	令和6年2月に完成した阿蘇立野ダムを新たな観光資源として活用するため、ダム建設工事で利用した工事ヤードに拠点施設を整備する。この拠点施設は、阿蘇立野ダムや南阿蘇鉄道などの観光資源と阿蘇ジオパーク（立野峡谷）やダム左岸の北向山原生林といった自然環境、熊本地震時の長期避難者帰還率増を目指している立野地域の活性化を融合した「交流の場」とする施設を中心とした観光施策の推進と、観光消費額の低下やインバウンドの減少、地域産業の衰退といった地域課題解決を図ることを目的とする。		
整備内容・利活用方策	<p>拠点施設内は、カフェスペースを整備し、来場者の滞在時間を延ばすとともに観光情報を提供する。また、施設南側の大屋根スペースとダム建設工事遺構でもある骨材貯蔵びん基礎を活用した巨大展望所を連結し、阿蘇立野ダムや熊本平野、有明海までの眺望を阿蘇カルデラの切れ目と共に楽しんでもらう。キッチンカーによるマルシェや地元野菜販売の軽トラ市なども開催し、集客や売上向上を図る。</p> <p>更には、デジタルサイネージを活用し、ジオ学習や熊本地震に関する防災学習など修学旅行や外国人団体客を誘致する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設整備費：271,002千円 ・外構工事費：10,170千円 ・デジタルサイネージ設置費：15,400千円 ・施設備品：10,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額（+1,919,811千円） ②移住定住者数（+300人） ③地元住民や組合等による活用及び隣接市町村とのイベント開催（+14回） ④防災・ジオ学習の実施（+14回） 	関連URL	調整中

事業概要【スタートアップ企業応援プロジェクト】

拠点補正

申請者	熊本県甲佐町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	80,334千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	スタートアップ事業者等の貸しオフィス・テナント施設及びオープンスペースを整備することで、賑わいを創出するとともに、地元商店街の活性化及び地元購買率の向上を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>商店街の空き地を活用し、貸しオフィス・テナント施設及びオープンスペースを整備することで事業者等を支援するとともに、商店街の活性化につなげる。</p> <p>【総事業費】 89,602千円 【交付対象事業費】 80,334千円 設計及び監理委託料：7,000千円 施設整備工事費：64,611千円 外構工事費：6,820千円 デジタルサイネージ設置費等：1,903千円 【交付対象外事業費】 9,268千円 用地買収費：9,268千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+14人） ②スタートアップ企業等入居数（+6社） ③セミナー等の実施回数（+17回）	関連URL	https://www.town.kosa.lg.jp/q/a/view/134/10741.html

事業概要【道の駅錦農産物直売所くらんど市改修事業】

拠点補正

申請者	熊本県錦町	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	9,990千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	「道の駅」にある農産物直売所において、店内スペースを拡張するとともに、キャッシュレス決済対応のレジシステムを導入することで来客者のニーズに対応し、キャッシュレス決済を求める新規客層の獲得による売上額の増加及び農産物生産者の所得向上を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>道の駅にある農産物直売所において、店内スペースを拡張し、陳列商品の増加や売り場の回遊性の向上を図る。また、キャッシュレス決済対応のレジシステムを導入し、顧客の利便性向上を図ることで、キャッシュレス決済を求める新規客層の獲得による売上向上、農産物生産者の所得向上、レジ作業の時間短縮による業務の効率化に取り組むとともに、キャッシュレス対応レジシステムによって得られるデータを分析・活用して町内観光施設との回遊性を強化することで、町内における観光消費額の増加を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 7,370千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容 【キャッシュレス対応レジシステム導入費用】 200千円 【陳列棚購入費用】 2,420千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における観光消費額（+528,746千円）</p> <p>②農産物直売所くらんど市における売上額（+84,227千円）</p> <p>③農産物直売所くらんど市への来客数（+61,661人）</p>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.kumamoto-nishiki.lg.jp （効果検証） https://www.town.kumamoto-nishiki.lg.jp</p>

事業概要【地域の核としての道の駅「子守唄の里五木」（山の幸館）再生事業】

拠点補正

申請者	熊本県五木村	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	165,600千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	道の駅「子守唄の里五木」の物産施設「山の幸館」について、改修を行い、地域住民向け商品の取り扱い量を増やすなど、地域住民サービスを向上するとともに、回遊性の高い魅力的な施設とすることで、地域産業や観光振興の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>既存の建物を可能な限り利用する前提に必要な機能の見直しや配置替え等を実施し、売場面積の拡大やデジタルサイネージを活用した観光情報発信機能の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事費 139,700千円 ・外構工事費 5,900千円 ・デジタルサイネージ導入費等 17,000千円 ・設備整備費（什器等） 3,000千円 		<p>配置イメージ図（案）</p>
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①人口社会増減数（+25人） ②施設売上高（+7,146千円） ③施設来場者数（+6,100人） ④デジタルサイネージを活用した情報発信数（+68件） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.vill.itsuki.lg.jp</p>

大分県

事業概要【国東半島の海（眺・食）を活かした浜焼き施設整備事業】

拠点補正

申請者	大分県豊後高田市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	期間中の総事業費	118,745千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	全国的に珍しい観光資源「馬ノ瀬」のトンボロ現象を眺めながら地元海産物が食べられる浜焼き施設を整備し、観光消費額の増加や広域観光の振興を図るとともに、漁業者等の経営安定化も図る。		
整備内容・利活用方策	<p>浜焼き施設において、地元漁業者や近隣漁協と連携した海産物の提供を行うとともに、観光資源である全国的にも珍しいトンボロ現象を実際に眺め、スクリーンでの潮の干満による道の浮き沈みを短時間で上映するなど、広域観光の振興と漁業者及び地域住民等の所得向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜焼き施設整備費 91,795千円 ・外構工事費等 22,550千円 ・観光サイン設置費 3,300千円 ・大型スクリーン設置費 1,100千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の観光消費額（+9,715千円） ②施設来訪者数（+6,500人） ③雇用創出者数（+8人） 	関連URL	https://www.city.bungotakada.oit.a.jp/soshiki/4/2189.html

宮崎県

申請者	宮崎県西都市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	314,979千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	<p>特別史跡内に所在する観光拠点施設を再整備し、地元産農畜産物を使用した飲食メニューや地域産品の開発・提供を行うとともに、コワーキングスペースやWi-Fi環境、ガイドンスゾーンの整備、観光情報の発信・案内の強化・充実により観光客の満足度を高め、市内周遊性の向上を図り、地域経済の活性化を目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>観光客が多い花季シーズン中に飲食物の提供がスムーズに行えるようにカウンターを設置し、Wi-Fi環境も整備するなど、観光客のニーズに合ったサービスや機能を備えた施設とする。また、コワーキングスペースやイベント等に活用する交流スペース、ガイドンスゾーンの整備により、花季シーズン以外の利用を促進し、観光誘客や観光消費の拡大を図る。さらに、デジタル技術を活用した情報発信等により市内周遊性の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備費 222,511千円 ・外構工事費（樹木剪定・伐採含む） 46,592千円 ・Wi-Fi整備、デジタルサイネージ設備設置 10,131千円 ・その他設備等 13,252千円 ・その他事業費（備品購入費等） 22,493千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の観光消費額（+26.7億円） ②西都原ガイドンスセンターこのはな館来館者数（+2.2万人） ③西都市観光入込客数（+12.21万人） ④観光消費による地域への経済波及効果（+35.89億円） 		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>

事業概要【高鍋駅交流拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	宮崎県高鍋町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	155,611千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野（詳細）	まちづくり分野
目的（効果）	<p>駅舎内に観光案内所、多目的スペース、ギャラリースペース、駅舎外に多目的広場を整備し、駅と中心市街地が連携したイベントや、観光情報の発信を行うことで、まちの魅力を創造し、高鍋町に訪れたい、住み続けたいと思えるようなまちづくりを進める。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>駅舎に観光案内所や各スペースを設け、イベントの実施や展示・紹介コーナーの設置等を行い、関係人口・交流人口の増加、駅利用者の利便性向上、情報発信を図る。 駅舎内へのWi-Fi環境を整備し、学生の公共交通の待ち時間におけるタブレット端末を使用した自学習支援の充実等を図るもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅舎改築工事費 : 153,282千円 ・外構工事費 : 11,922千円 ・解体（一部）工事費 : 10,884千円 ・備品購入費 : 2,096千円 ・Wi-Fi設置費 : 37千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口・世帯数 (+70人) ②イベント開催時の来客数 (+40,000人) ③駅からのデマンド交通利用件数及び駅までのデマンド交通利用件数の合計 (+600件) ④餃子店の売上増加額 (+70,000,000円) 	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)調整中

事業概要【川原自然公園交流拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	宮崎県木城町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	1,277,869千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	川原自然公園を整備し、手つかずに残っている尾鈴山系・小丸川水系の自然やその空間の中でのアウトドア体験やワーケーション、各種自然体験、食の推進、健康増進、教育・子育て支援等様々なメニューを活用し、町内各施設の観光誘客の促進や滞在時間の延伸、移住や交流・関係人口の拡大、地域の消費拡大に効果的に寄与する施設として整備するとともに、観光消費額の引上げに結び付けていく。		
整備内容・利活用方策	<p>交流拠点施設兼総合案内所やコテージ、オートキャンプサイト、駐車場完備の芝生フリーサイト等を整備し、利便性向上を図るとともに、関係団体や地元農林商工業者と連携した特産品販売や観光PRを行う。また、園内全域Wi-Fiやオンライン予約システム、キャッシュレス決済対応レジを導入することにより利用者増及び売上向上を図り、地域内の消費拡大に寄与する施設とする。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く事業） 【建築工事費】 1,019,809千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業） 【外構整備工事等】 231,012千円 【園内Wi-Fi整備、POSキャッシュレスレジ導入費】 27,048千円</p>		
KPI	<p>①本町における地域全体での観光消費額（+45,367千円）</p> <p>②川原自然公園の収入（+22,719千円）</p> <p>③川原自然公園の利用者数（+8,000人）</p> <p>④町全体の観光客数（+32,000人）</p>	関連URL	（調整中）

※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【地域の未来を紡ぐ交流拠点整備事業】

拠点補正

申請者	宮崎県椎葉村	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	115,097千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	2020年度に廃校となった小崎小学校跡地に、地域住民及び村外からの人たちが集う交流拠点施設として整備を行い、地区計画事業の拠点施設としての活用及びワーケーション施設として村外企業をはじめとするワーケーション誘致につなげていく。また、施設が地域の中心部に位置することで、集落支援の拠点として活用されるほか、地域住民の交流促進及び地域活動の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>地域コミュニティ活動や伝統文化である「神楽」や「山法師踊り」、「郷土料理」の継承活動を行う拠点を整備する。</p> <p>WI-FI環境を整備し、自然に囲まれたロケーションを活かしワーケーション施設として活用され、村外者と住民の交流が生まれることで、移住者及び関係人口の創出が図られる。</p> <p>【施設整備】 106,519千円 建築工事、電気設備工事等</p> <p>【効果促進事業】 5,240千円（ハード事業） 外構工事、交流活動環境整備等 WI-FI環境整備</p> <p>【効果促進事業】 3,338千円（ソフト事業） 什器等整備、収納棚等設置</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域へのUIターン者数（+15人）</p> <p>②当該施設を利用した村外者の延べ人数（+250人）</p> <p>②地域情報発信SNSのフォロワー数（+250人）</p> <p>③当該施設がイベントで活用された日数（+80日）</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的用途・実施体制）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整中 （効果検証） ・調整中

鹿児島県

事業概要【「宇宙に一番近い島からデジタル人材」種子島宇宙学校プロジェクト拠点施設整備事業】

拠点補正

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	鹿児島県南種子町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	81,776千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>本町の都市公園である「宇宙ヶ丘公園」敷地内に、民間事業者が主体となり、学びや交流・研究実験の拠点となる研修施設と宿泊施設を整備し、宇宙科学に関する専門的な学びや企業の研修型ワークショップの場、研究実験の場として活用することにより、関係人口の拡大、デジタル人材の育成を図る。この学びや研修等を通して、デジタルを活用した地域課題解決のための研究・実験を行い、新たなしごと・雇用の創出を目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>【整備内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びや交流・研究実験拠点施設・宿泊施設 41,506千円 ・設備整備（機材購入等） 15,786千円 ・造成・インフラ整備・外構 21,780千円 ・効果促進事業（ソフト事業） 2,704千円 <p>【利活用方策】</p> <p>整備した拠点施設と宿泊施設において、子供向けアフタースクール・企業向け研修型ワークショップ等を実施し、関係人口の拡大とデジタル人材の育成を行う。併せて、デジタルを活用した地域課題解決等のための研究や実験を行い、社会実装を目指す。</p>	 	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①本町へのUIターン数（+8人） ②アフタースクールの参加者数（+25人） ③各種イベントの参加者数（+1,200人） ④新規企業の立地数（+1件） 	関連URL	http://www.town.minamitane.kagoshima.jp/publicize/9.html